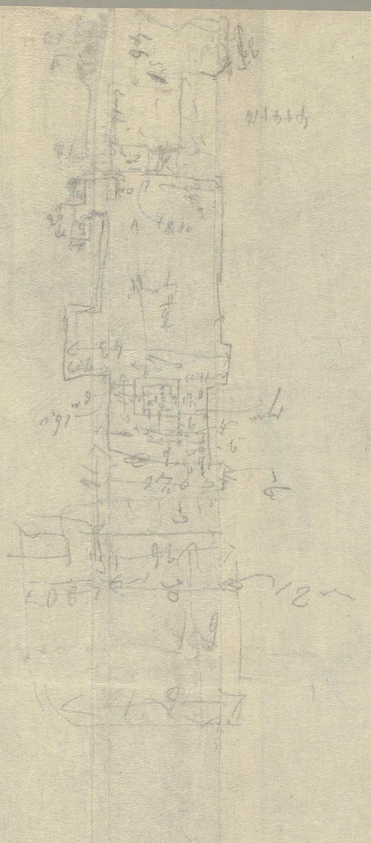
田丸城主変遷（表）附岩出（岩手）城

藩主	城主	石高	在城期間（年限）	備考
徳川	徳川頼宣ノ庶子久野宗成	一〇、〇〇〇	元和五年	伊勢国渡洲氏ハ初メ当城ニ拠ル。
〃	〃 宗次	〃	寛永十九年	大日本地名辞書ニハ、延元以前既ニ南朝方ニテ築キシモノナラン歟トアリ。
〃	〃 宗辰	〃	寛文七年	南方紀伝、檜垣記等ニハ、八津甲八日、宮方ノ菊川田丸城ニ立籠リ、高師秋ト攻防ノ事ヲ記事アリ。
〃	〃 宗貞	〃	貞享四年	
〃	〃 豊矩	〃	宝永十九年	
〃	〃 定晴	〃	宝暦二年	
〃	〃 宗房	〃	天明元年	
〃	〃 定政	〃	寛政六年	
〃	〃 宗恒	〃	明治二年	
〃	〃	〃	〃	
〃	〃	〃	〃	
〃	〃	〃	〃

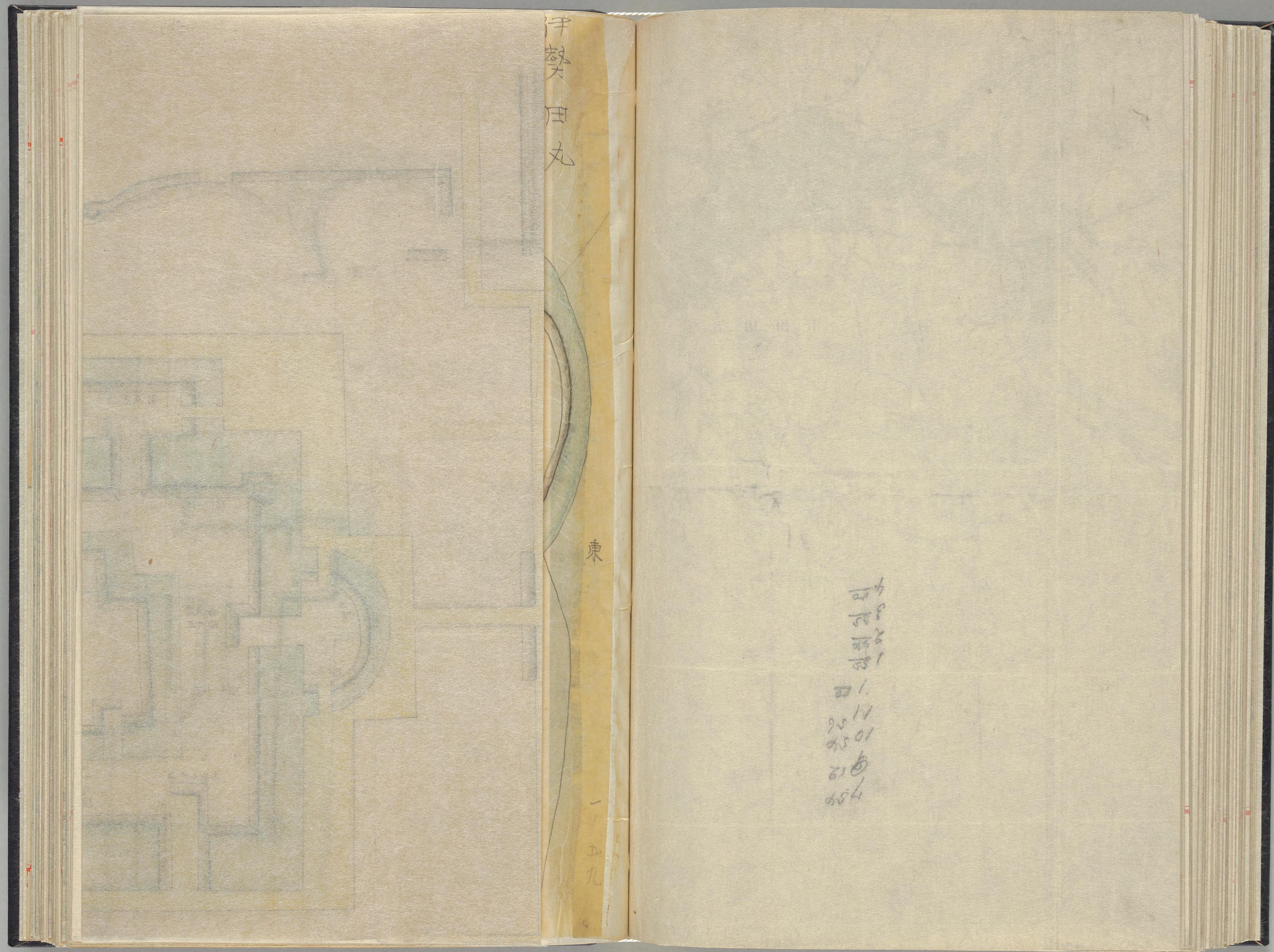
国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4



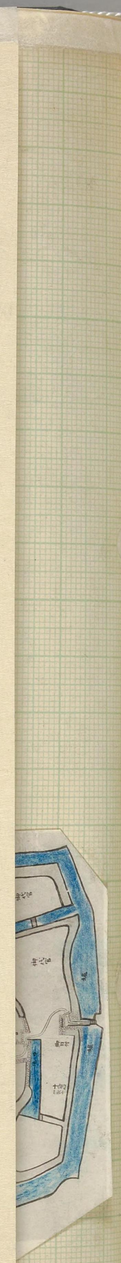
城史

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

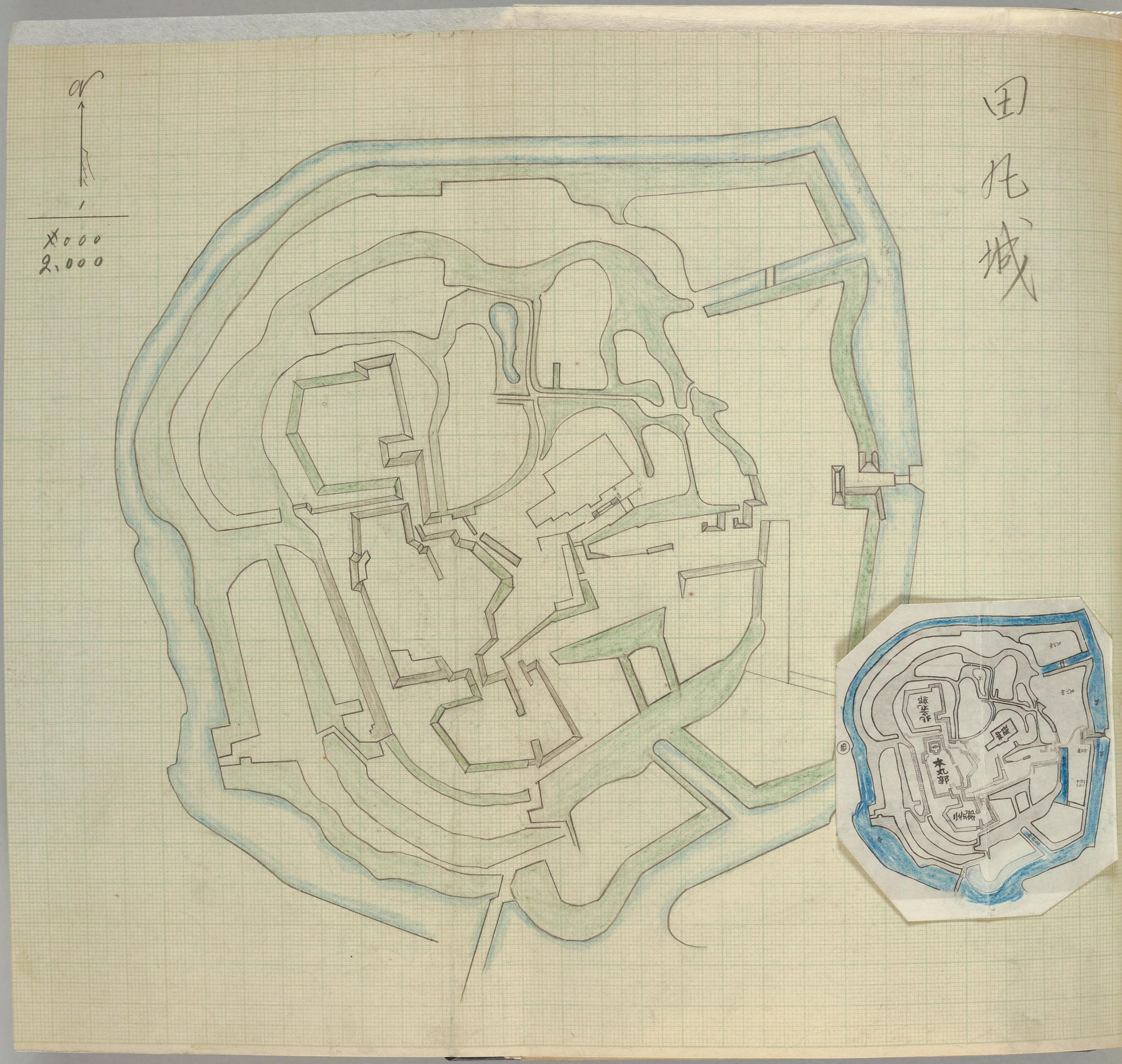


国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

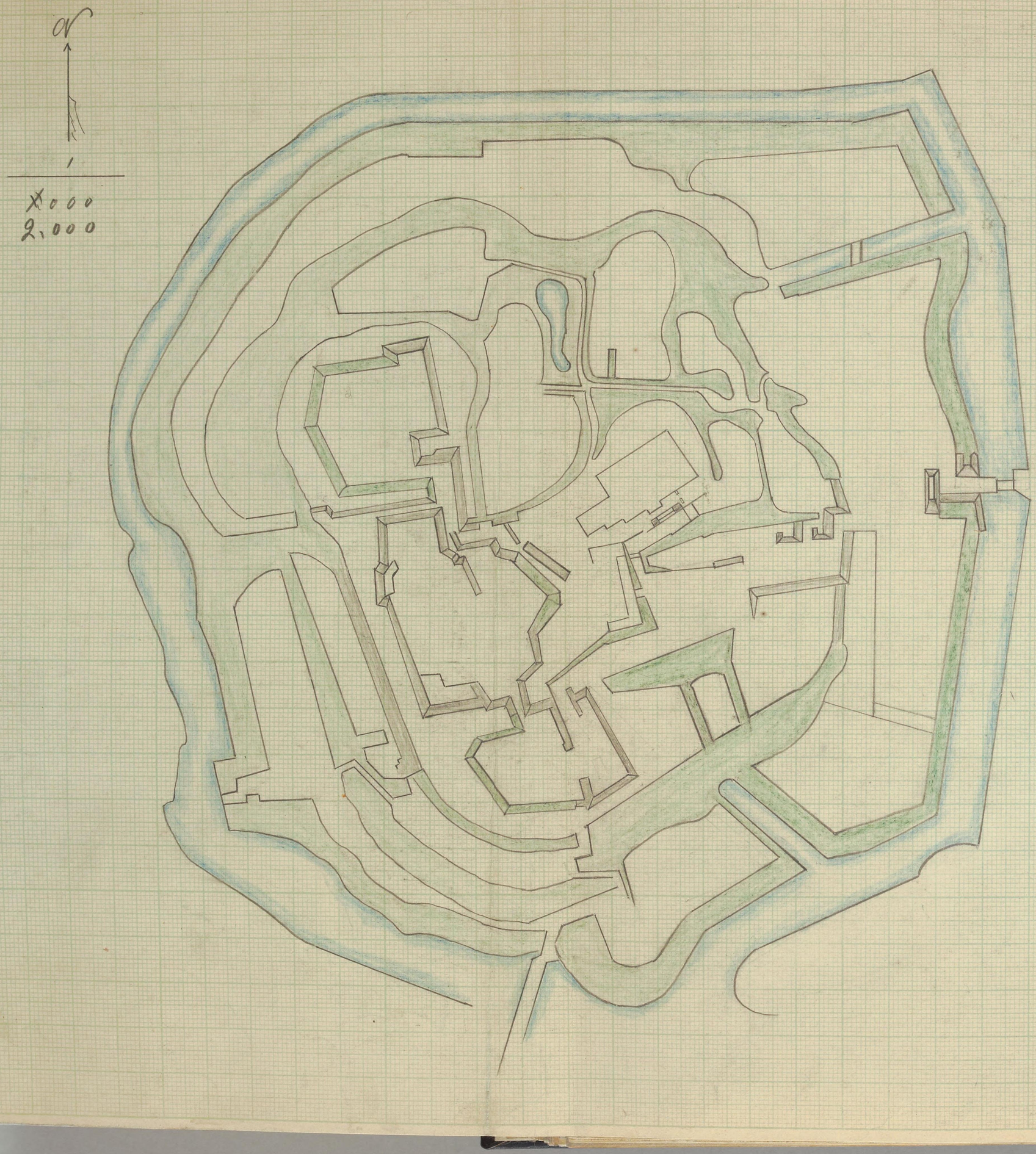
国立国会図書館　[日本城郭史資料] 第21冊　本別20-4



国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4



国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

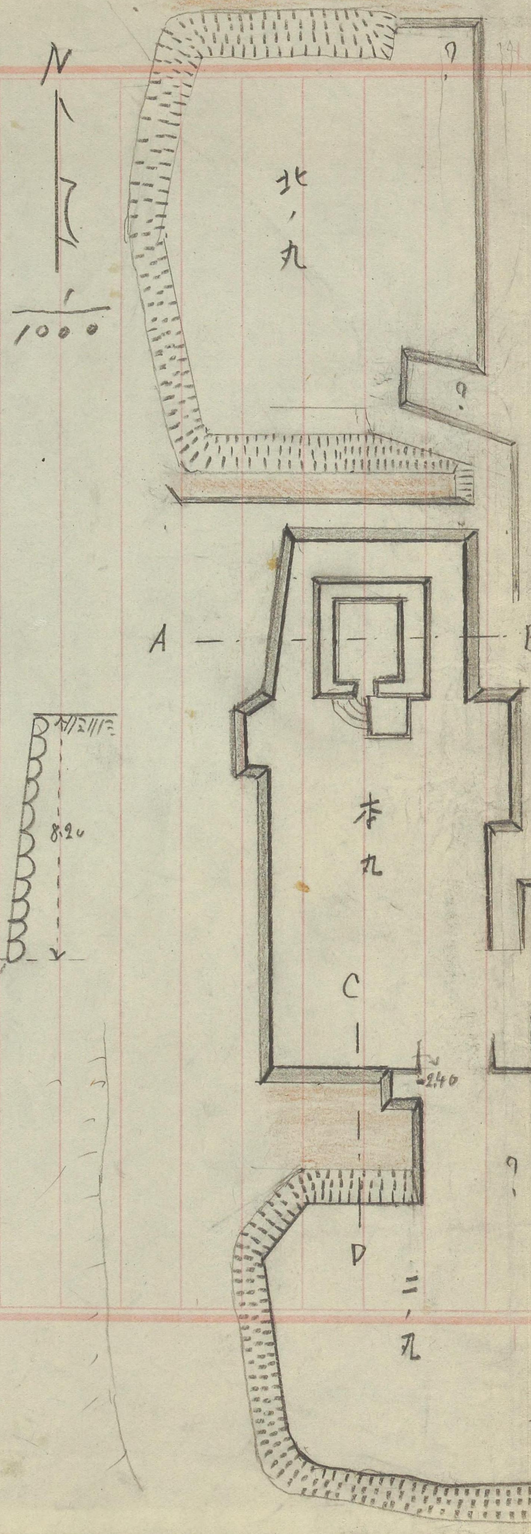


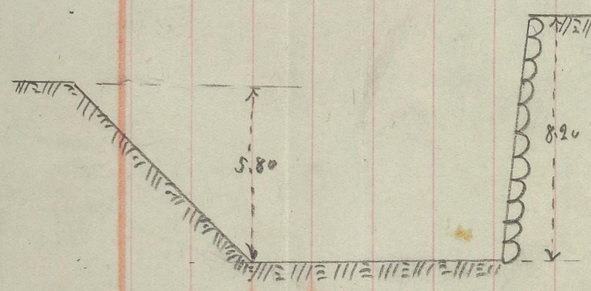
江戸城

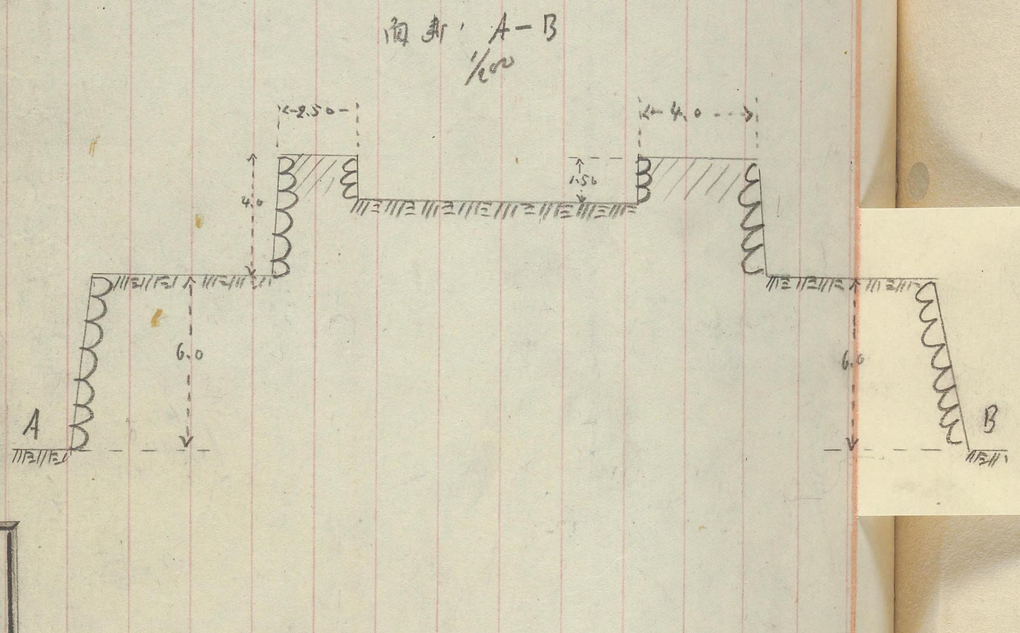
国立国会図書館　[日本城郭史資料] 第21冊　本別20-4

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

国丸近附丸本城丸図

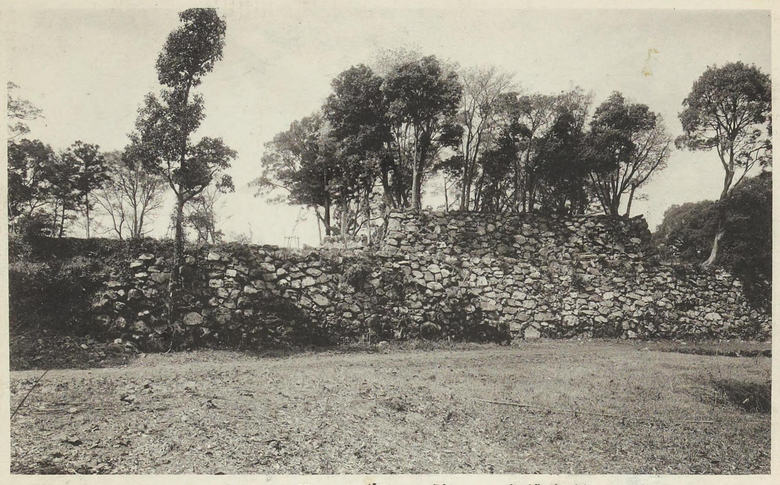






国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

回丸本城丸田



田丸城山　天守閣跡

本図ハ東側ヨリ見タル本丸図ト
一段高キ石垣ハ天守台ニシテ其ノ西部
石垣ハ本丸ノ石垣ナリ

田丸本城丸田

田丸城山　色白井趾ヨリ田丸城跡ヲ望ム

西側ヨリ見タルモノ
中央一段高キ天守台ト

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

田丸城二ノ丸回

田丸城山　二ノ丸跡ヨリ本丸ヲ望ム

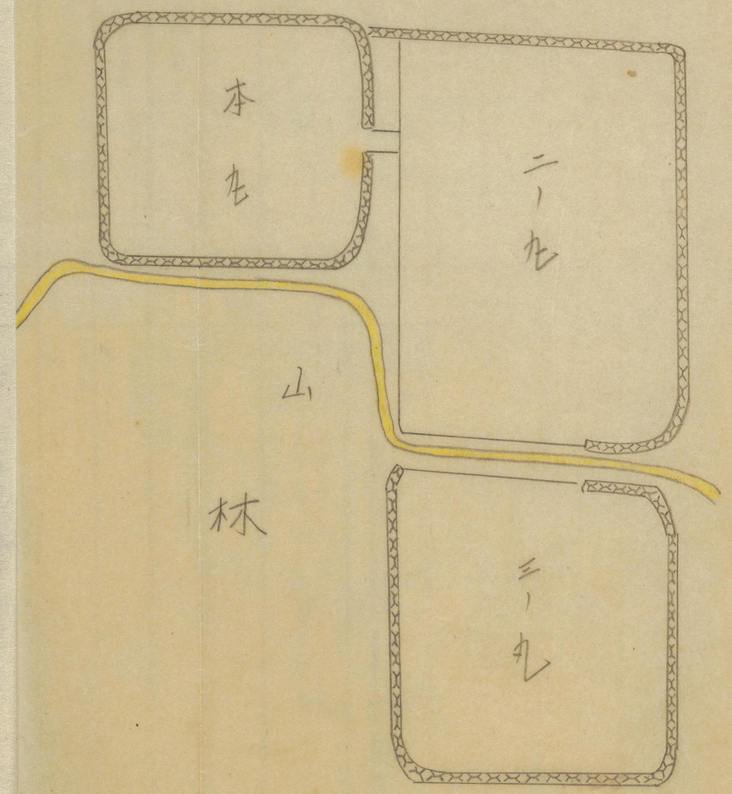
右方ノ少シク高キ処ハ本丸ト云

裏

CARTE POSTALE

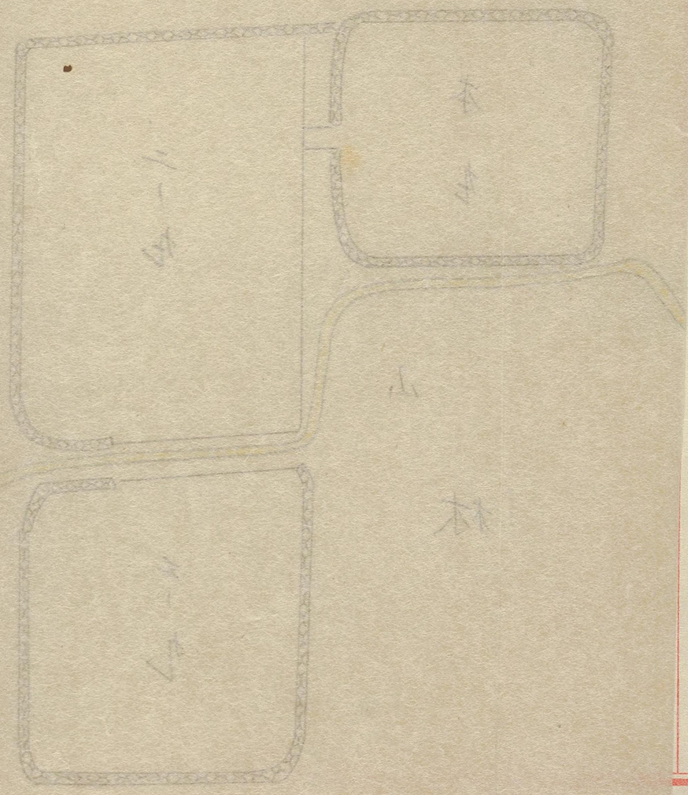
国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

赤木城（伊勢南部）



国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

鳥羽城主変遷表

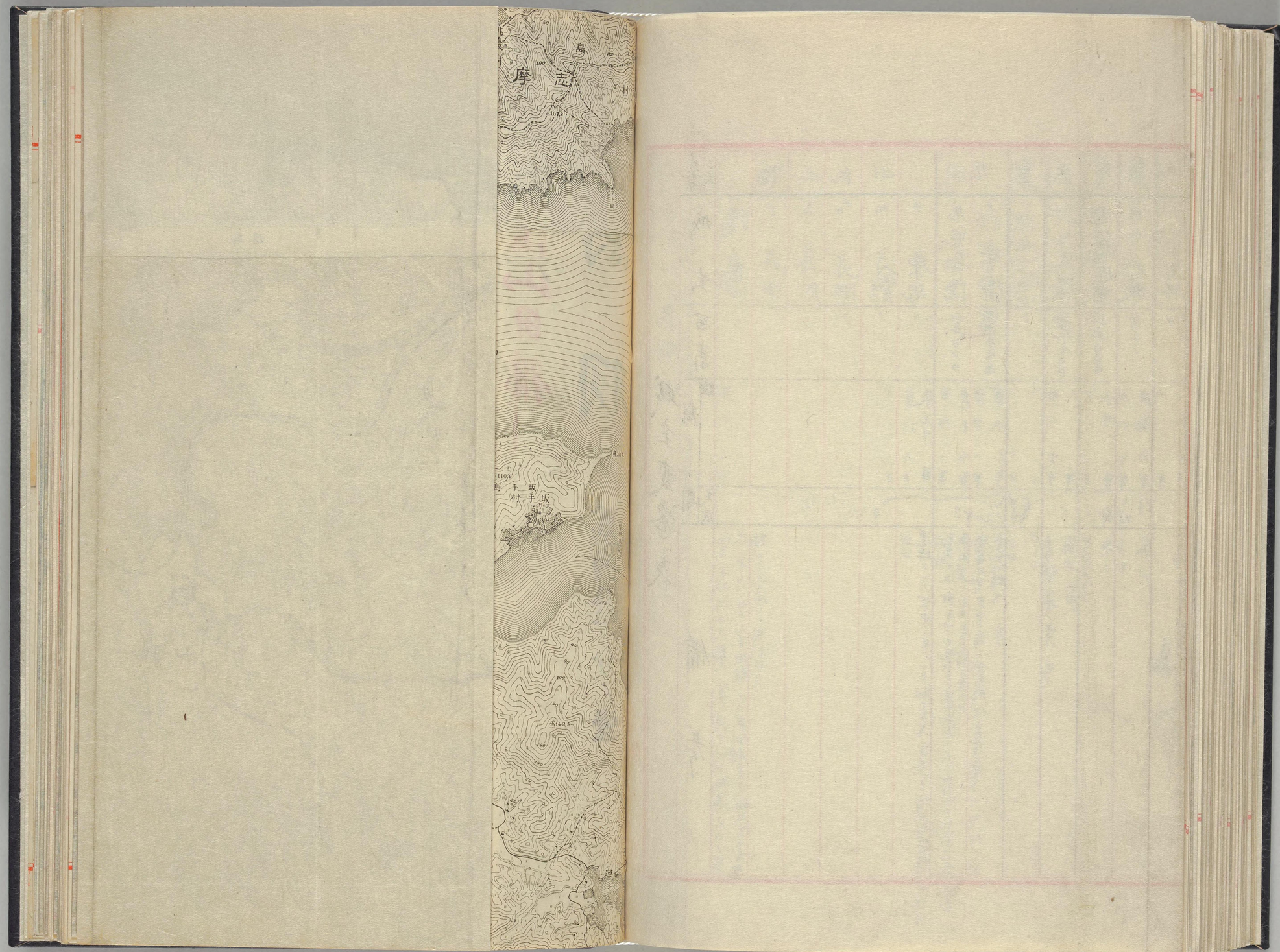


国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

鳥羽城主変遷表

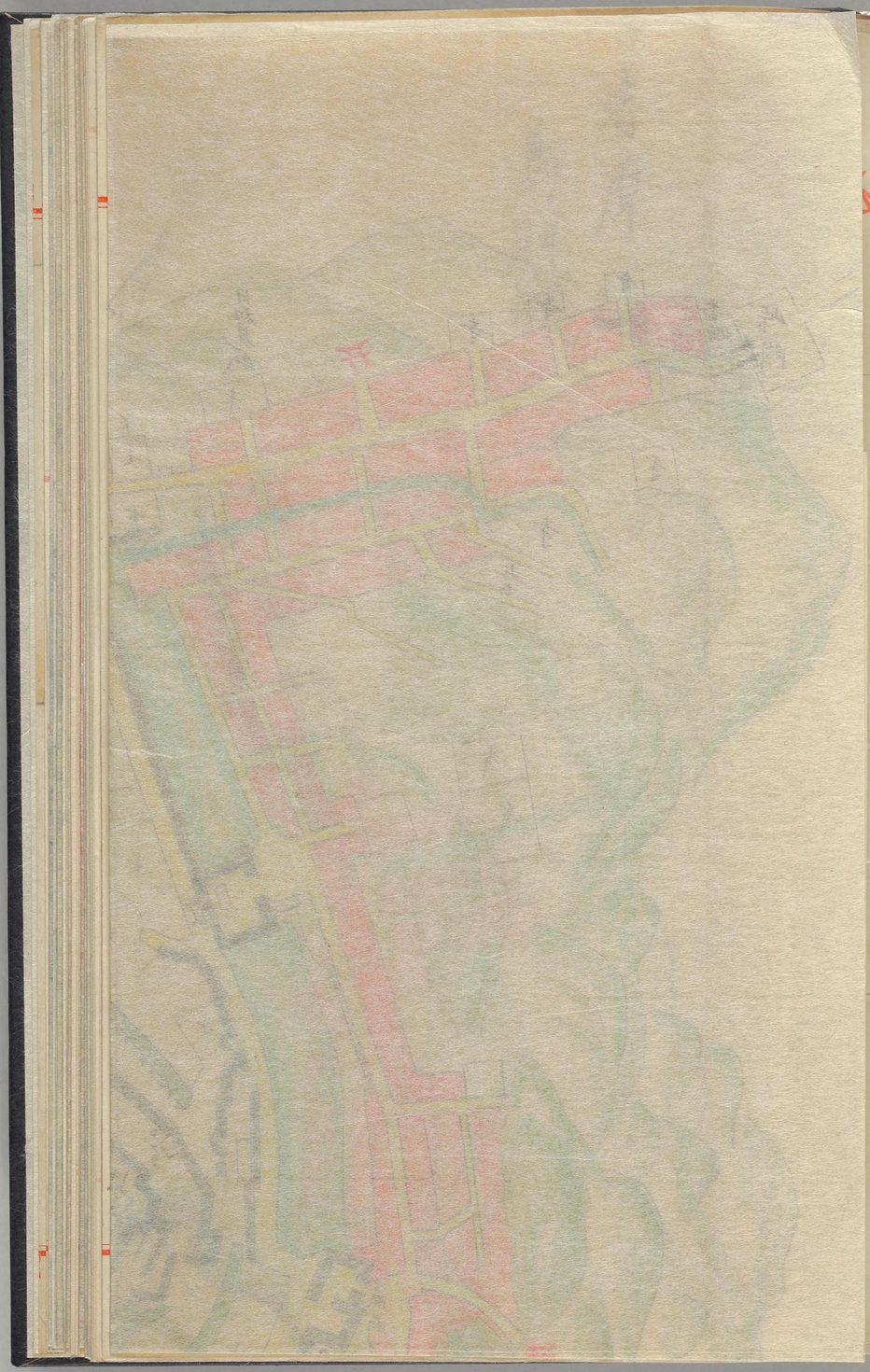
藩主	城主石高	期間	備考
橘氏	？	？年	保元、平治ノ頃ヨリ、橘氏此處ニ據リ、代々相傳フ。乃チ宗忠ニ至ル。世ニヨヲ泊殿、又ハ鳥羽殿トイフ（姓氏家系大典）
〃	？	？	橘氏ノ宅址乃チ鳥羽城ナリ。
〃	？	？	
〃	？	？	
〃	？	？	
〃	？	？	
〃	宗忠	永正？年	連綿トシテ宗忠ニ至リシモ、嗣子ナク。宗忠、ソノ婿九鬼嘉隆ニ譲渡ス。
九鬼氏	嘉隆 三五、〇〇〇	慶長二年	長島大坂ノ戦ヒニ功アリ信長ヨリ三萬五千石ヲ受ケ鳥羽城ヲ修築ス。（天正六年）。
〃	守隆 五一、〇〇〇	寛永九年	慶長五年、東軍ニ屬シ城ハ一時、父嘉隆ニ奪ハル。後、新墾田千石ヲ賜フ。卒。
鬼氏		（3代）約120年？	
〃	久隆 三六、〇〇〇	〃 十年	五月租父守隆ガ遺命ヲ以テ攝津三田ヘ。
内藤氏	忠重 三五、〇〇〇	〃 承應二年	眞壁ヨリ。
〃	忠政 〃	〃 延寶元年	卒
〃	忠勝 〃	〃 八年	六月增寺ニ於テ（法會）ノ際殺刃ニ及ビ、死ヲ賜フ。（乱心）
		（3代）48年	
土井氏	利益 七〇、〇〇〇	天和元年	下總古河ヨリ
〃	〃	元祿四年	唐津ヘ
松平氏	乘邑 六〇、〇〇〇	〃 寶永七年	唐津ヨリ
〃	〃	〃	伊勢亀山ヘ
板倉氏	重治 五〇、〇〇〇	〃 享保二年	亀山ヨリ
〃	〃	〃	再ビ亀山ヘ
松平氏	光慈？	〃 十年	淀ヨリ
〃	〃	〃	松本ヘ
		9年	
稻垣氏	昭賢 三〇、〇〇〇	〃 寶暦二年	烏山ヨリ
〃	昭央 〃	〃 三年	十二月卒
〃	長以 〃	〃 安永二年	正月嗣ギ
〃	〃	〃	致仕
〃	長續 〃	〃 寛政六年	
〃	〃	〃	致仕
		145年	
〃	長剛 〃	〃	
〃	長明 〃	〃	
		（8代）	
〃	長行 〃	〃	
〃	長敬 〃	明治二年	

国立国会図書館　[日本城郭史資料] 第21冊　本別20-4



国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

国立国会図書館　[日本城郭史資料] 第21冊　本別20-4



山田縣

羽

貳萬五千分ノ壹

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

志摩
鳥羽城

北

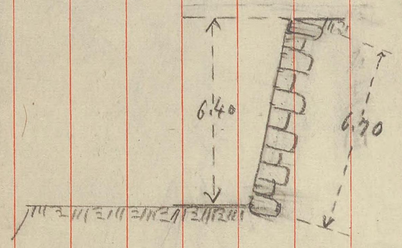
岸門
番所
寺
日輪見山
開
的バ
士
寺
寺
寺
寺
寺
寺
寺
寺
寺
寺
士
士
士

烏羽城

烏羽城ハ日下子丸等ノ南錦山頂部ニアル本丸ヲ中心トシ本丸ノ経緯ヲ以テ見ルト凡ソ南北ニ関雑ニ亘リ石垣ハ西北部ニ約二〇ノ位置ニアリ其ノ下方ニモ石垣アルモ低シ

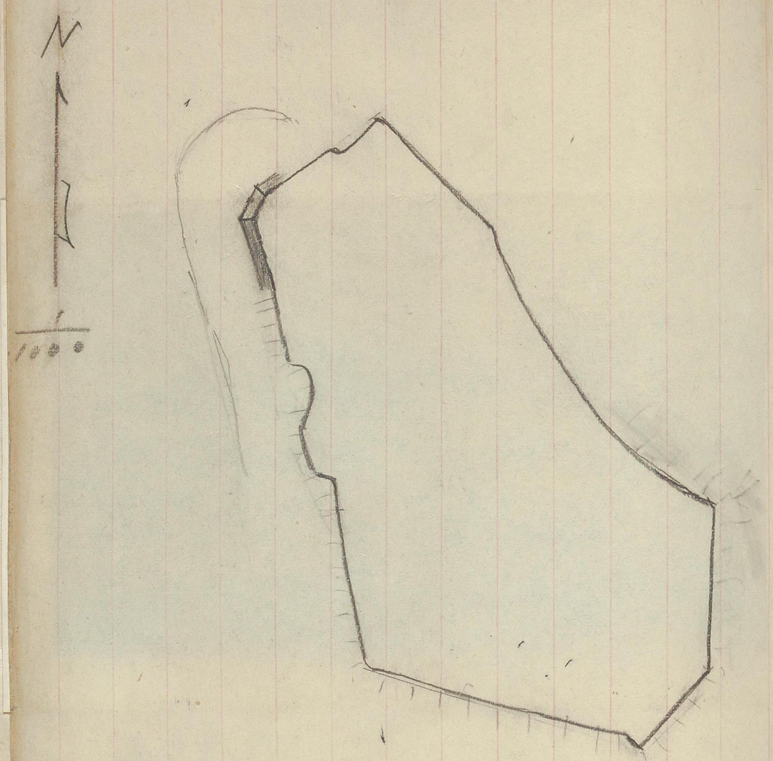
昭和三年城ノ石垣ヲ破壊シ石ヲ小サク砕キ道路ノ補修ニ使用セリ

本丸西北隅ノ石垣ノ断面ハ如シ



国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

鳥羽城本丸概要図



本城ノ特徴

一、大手ハ海岸ニシテ其ノ位置ハ風波ノ際ニ相當ニ面ス

二、本丸以外ノ重要部ハ殆ンド海ニ面シ低地ヲ面シテ本丸ニ

三、連絡ハ高地ノ家ヨリ置キシテ通ス

四、北方西方ノ外壕ハ人工的ニ掘リシモノニシテ

其ノ西方ハ高地ニ連絡セシモノニシテ大体ニ於テ掘ノ

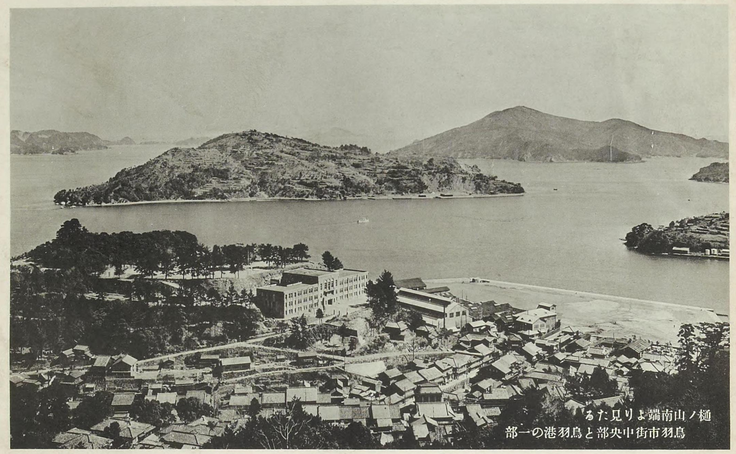
得ル如キ山ヲ掘リ下ゲシ形跡アリ

四、船ノ格納施設等ヲ厳重ナル

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

回望鳥羽城遺

〔鳥羽名勝〕



「るた」見りよ嶺南山ノ麓
鳥羽市街中央部と鳥羽港の一部

Famous Views of Toba Port.

此の上方樹木の茂れる所より
鳥ノ塵を前に本丸より
運動場まで

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

神戸城主変遷表

附澤城

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

神戸城主変遷表　附　澤城

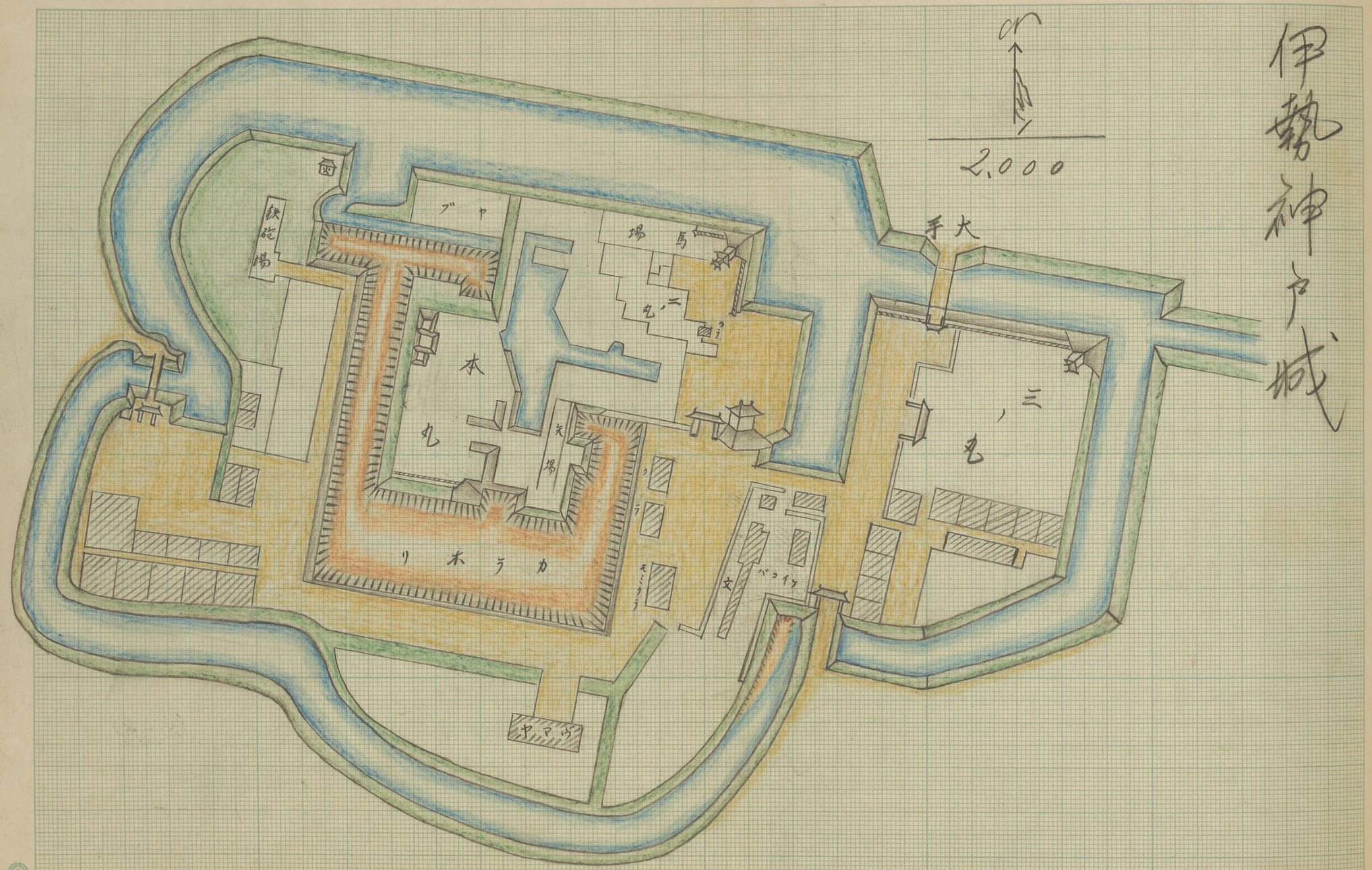
摘　要

藩	主城主	石高	期間 自 至	年限	摘要
神戸	神戸盛澄		正平廿二年		関城主関宮治ノ長子盛澄、西保、地ニ當城ヲ創築シ、神戸氏ヲ稱ス。同後、神戸氏、関一帯ノ總領タリ。（伊勢名勝志）
〃	〃 貞重				
〃	〃 爲盛				
〃	〃 具盛				一時頽花ノ神戸城ヲ地ニ城キテ之ニ移ル。（一説、神戸城ニ移リシハ、友盛ノ時トモ云）
〃	〃 長盛				
〃	〃 利盛				
〃	〃 友盛		永禄十一年二月	(7代) 202年	
氏	〃 信孝		天正十年	15年	信長北伊勢ヲ略シ、之ヲ三七（信孝）ヲシテ神戸氏ヲ嗣ガシム。
〃	小島兵部輔		天正十一年五月	2年	信長死後、信孝岐阜城ニ在リ三法師ヲ擁ス。秀吉ト断ツニ至ルヤ、翌十年五月、秀吉方、信雄ノ將林正武、當城ヲ陥レ、當時、信孝、將小島氏在城ヤ又ハ、小島、後起ニ及ビ、秀吉軍来リ攻ム。正武、遁ル。加賀野井城ニ入リ、加賀野井重宗父子共ニ同城ヲ嬰守ス。
織田信雄	林正武		今年四月	1年	
羽柴秀吉	瀧川一益		天正十二年六月	3月	秀吉軍、吉城ヲ占據スルヤ、一益、勢ヒ利アラズ、伊勢ノ長島城ニ走ル。（時ニ浦生氏ハ松ヶ島ニ封ゼラル）
生駒氏	生駒親正	三〇、〇〇〇	今年天正十二年八月	4年	敦正、近江高島城ヨリ讃岐高松城ヘ
瀧川氏	瀧川雄利	二〇、〇〇〇	慶長五年九月	14年	敦正ノ移封後、雄利、天正十二年七月、信雄ノ命ニ依リ、伊賀上野城ニ在リシガ如シ。雄利、信雄ニ属シテ當城ニ在リシガ如シ。（又拾遺。）雄利、信雄ノ没後ニ依リ、秀吉ニ通ジ秀吉ヲシテ、當城ヲ攻メ長島城ヲ奪戦利非ズシテ信雄ノ軍ニ降ル。（又拾遺。）
幕領	代官水野九右エ門		今年	2年	
一柳氏	一柳直盛	三〇、〇〇〇	慶長六年寛永十三年六月	36年	屋張黒田ヨリ伊豫西條ヘ
幕領	代官佐野平兵エ		今年	16年	
石川氏	石川總長	二〇、〇〇〇	慶安四年四月寛文元年十月	8代 82年	徳長ニ、備山城主忠総、常陸下館ヘ、所城ヨリ、初メ一万石、延宝三年九月五千石加封アリ、而ヲ時城ヲ築ケリ。（寛政重修諸家系譜）
〃	〃 總良		今年二月貞享二年六月	(3代)	
〃	〃 總茂		今年九月宣保十七年三月	卒	
本多氏	本多忠統	一五、〇〇〇	今年四月寛延三年十一月	7代 138年	
〃	〃 忠永		今年寛暦十年十月	卒	
〃	〃 忠興		明和三年七月今年九月	卒	
多〃	〃 忠裔				
〃	〃 忠升				
氏	〃 忠廉				
〃	〃 忠貫		明治二年六月		

国立国会図書館　[日本城郭史資料] 第21冊　本別20-4

伊勢神戸城

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4



国立国会図書館　[日本城郭史資料] 第21冊　本別20-4

桑名城主変遷表

藩主	城主	石高	期間	備考
			自 至	

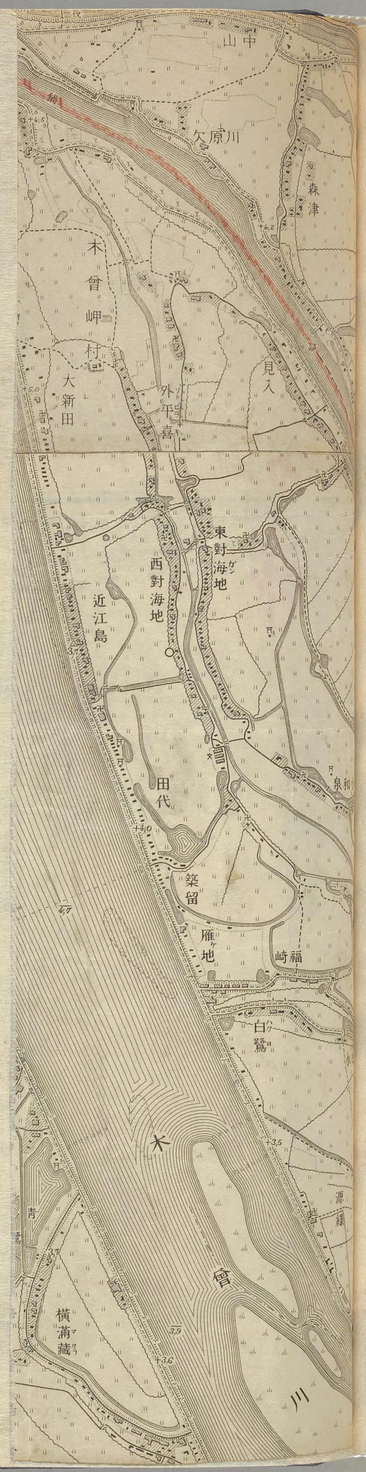
国立国会図書館　[日本城郭史資料] 第21冊　本別20-4

桑名城主変遷表

藩主	城主	石高	期間	備考
桑名行政			文治 年中	伊勢桑名城ヲ受ケ、此地ヲ管ス。
？				
？				
？				
伊藤實倫			三國地誌ニ戦時ノ好案名、津信ノ伊藤右近尾守ス。（註、武左衛門実倫ノ事ナラン）	
伊勢氏直			永禄 年中	七宗御案清ノ家臣小鯖（實房ノ四子）ト。
滝川一益	城代		天正 二年	伊勢名勝志ニ、永禄中伊勢氏並之ヲ領ス北畠具教ノ属ス。
			十年	信長、伊勢征伐ノ為リ長島城ヲ（益ニ守ラシム）領ス。天正四年信長上ノ越シ服部友定之ヲ監ス時ニ一益當城ヲ備セ
織田信雄			天正 十五年	六月、一益退地ノ後牧ス。
			十八年	信雄、天野景俊ヲシテ一時之ヲ守ラシム。
天野景俊			〃	
			十二年	
酒井忠次			〃	小牧役ノ際ニ酒井忠次、石川数正等當城ヲ守ル
石川数正			〃	
丹羽氏次		七〇〇〇	天正 十五年	小牧役後丹羽氏次當城ニ入リ伊勢ノ田七〇〇〇石ヲ領ス信雄ニ
			十八年	仕フ。而シテ天正十八年、小田原役ニ従ヒ秀吉ニ属ス。
城代 服部一忠			天正	松坂城主服部忠城代トス。
			元年	
和直盛			文禄 年中	
氏家行広		二二〇〇〇（五〇〇〇）	文禄 四年	尾州黒田城ニ一柳直盛ノ當城ヲ領ニ子供修築ス。
			慶長 五年	（文禄元年一月二万石加増トアレバ、コノ時當城ヲ有セシモノカ）。
蒲	領		〃 六年	此年秀吉、神戸城ヲ天主ヲ移シテ修築ス。七月氏家行広ヲ封ズ。
			〃	西軍ニ属シ封ヲ除ク。
			〃	暫時、福島、松平、諸氏ニ領ス。
本多忠勝		一五〇〇〇	〃	
〃	忠政		元和 元年	七月姫路城ヘ。
〃			三年	七月大多喜城ヨリ八年城営ヲ似築、天主、三ノ丸等ヲ修造ス。
〃			十五年	六月卒。
〃	（二代）		〃	
松平定勝		一一〇〇〇	寛永 元年	伏見城ヨリ七年、吉田城ヨリ右歴十五町ヲ海中ニ築ク。
〃	定行		〃 十二年	六月卒。
〃	（二代）		〃 十九年	七月松山ヘ
松平定綱		一一〇〇〇	慶安 四年	大垣城ヨリ。（定綱、定勝ノ次男）
〃	定良（久）		明暦 元年	十二月卒
〃	〃		〃 三年	二月帰
〃	（三代）		〃	76年
〃	定重		寛永 七年	七月卒
松平忠雅		一〇〇〇〇	延享 三年	十月帰
〃	忠刻		〃	閏八月高田城ヘ。
〃			明和 八年	〃 稲山城ヨリ
〃	忠啓		天明 六年	六月 〃
〃			〃	〃
〃	（七代）		〃	敦仁
〃			〃	114年
〃	忠功		〃 七年	正月
〃			〃	十二月卒
〃			〃	十月弘仁
〃	忠和		〃	
〃			〃	
〃			〃	
〃	忠翼		〃	
〃			〃	
〃	忠堯		〃	
松平定永		一一〇〇〇	〃	忍ヘ。
〃			文政 六年	
〃			〃	
〃			〃	
〃			〃	
〃			〃	
〃			〃	
〃			〃	
〃			〃	
〃			〃	
〃	定和		〃	
〃			〃	
〃	定猷		〃	
〃			〃	
〃			〃	
〃			〃	
〃			〃	
〃			〃	
〃			〃	
〃			〃	
〃	定敬		明治 元年	
〃			〃	
〃			〃	
〃			〃	
〃			〃	
〃			〃	
〃			〃	
〃			〃	
〃			〃	
〃	定教		明治 二年	
〃			〃	
〃			〃	
〃			〃	
〃			〃	
〃			〃	
〃			〃	
〃			〃	
〃			〃	

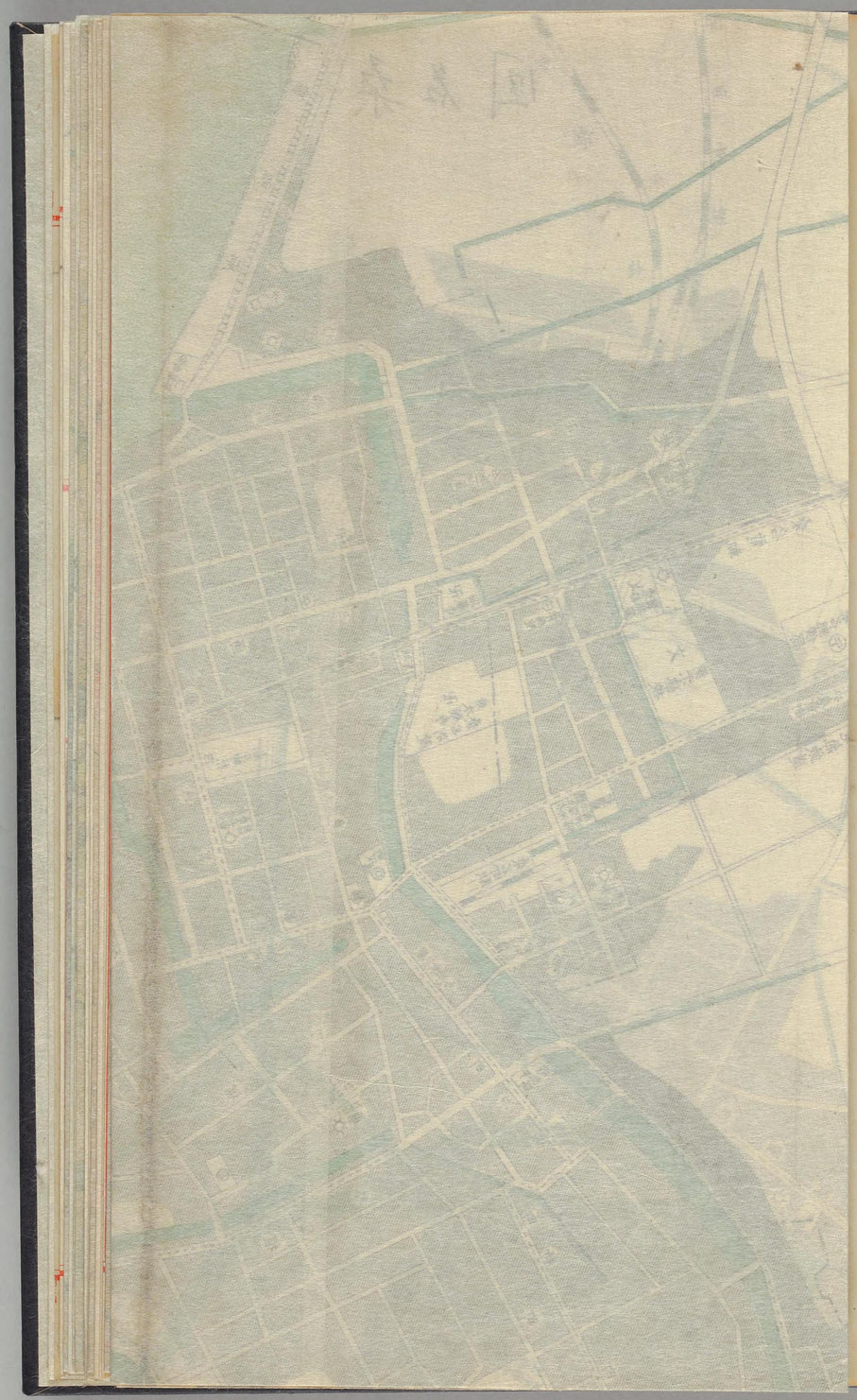
（5代）47年

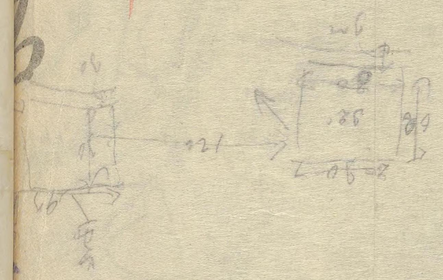
国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4



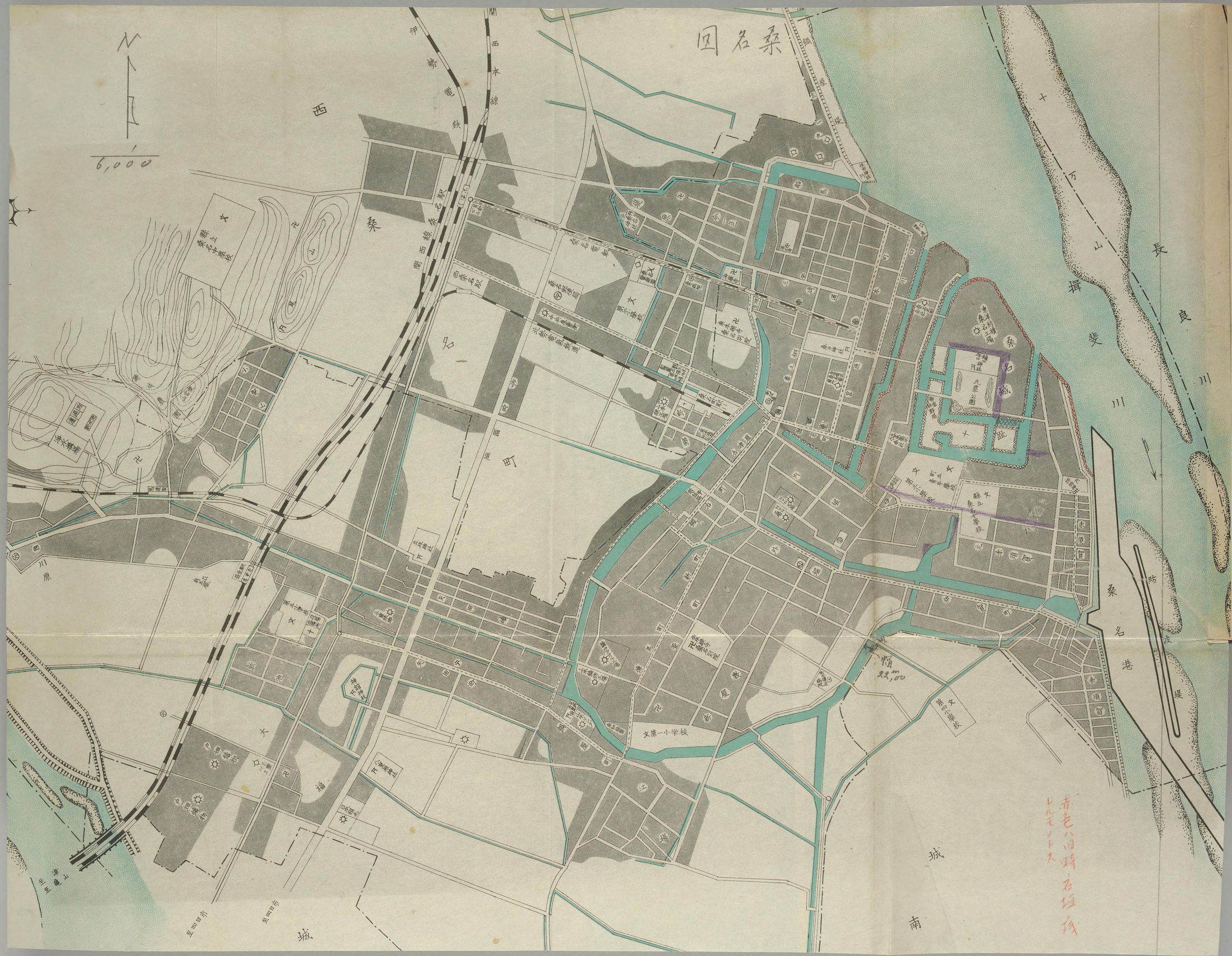
国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

国立国会図書館　[日本城郭史資料] 第21冊　本別20-4





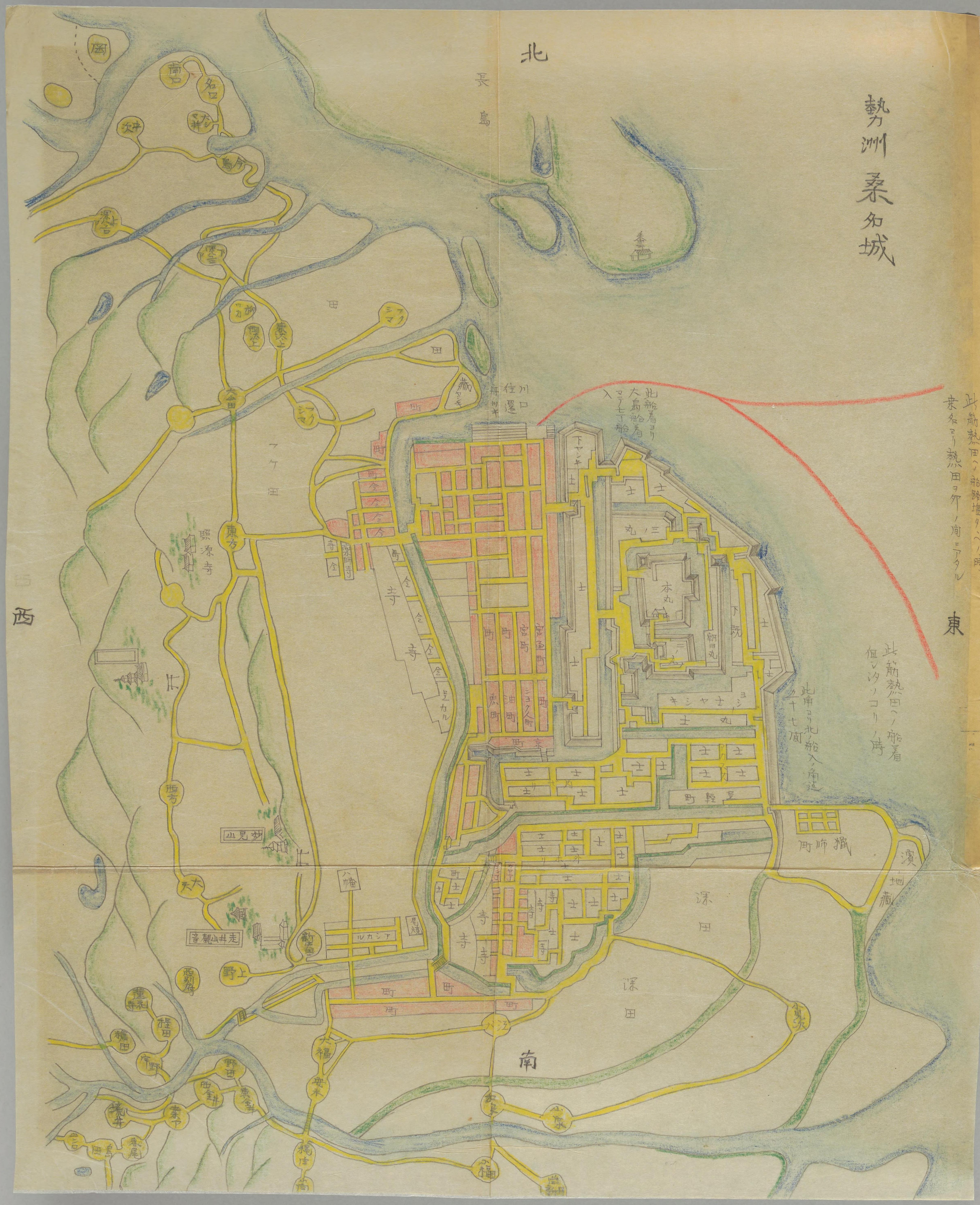
国立国会図書館　[日本城郭史資料] 第21冊　本別20-4



国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

勢州桑名城



国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

桑名城

桑名城ハ本丸ヨリ左ノ數線ノ防禦線ヲ設ケ即チ

東方　三線

北方　三線

西方　四線

南方　五線　二ノ丸ハ本丸ノ南側ニアリ防ヲニ丸ヨリセハ四線

西南方ニ外部ノ突出セル東海道ノ關係上城下町ガ西南方ニ延長シ

テ取リ入レン爲ナラン

一、本丸ノ　此ノ如キ大河、海、湖、斷崖等ヲ控ヘタル城部ハ本丸ハ概ネ大

障礙物ニ接シテ設ケラレ例ヘハ大山城、彦津城、弘前城等

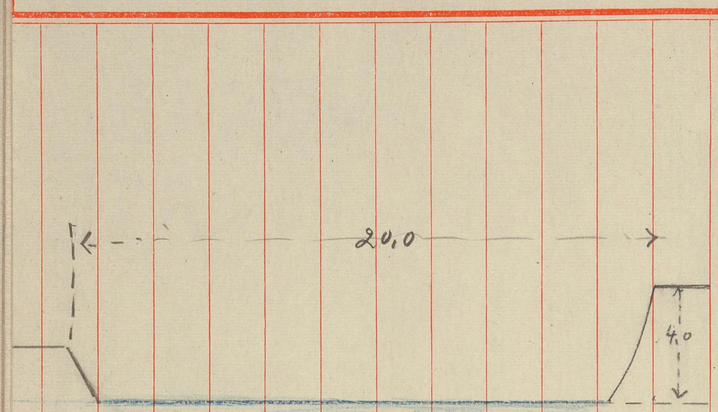
丸ハ河川ヲ絶對條件トセスシテ精神的ニ陣ヲ布キ例ヘハ高知城ノ如キ

衛線ヲ設ケアルヲ注意問到ナル河岸ヲ浚渫シ物ヲ廣シ

テ以テ之ヲ防ク

二、二ノ丸ニノ丸、本丸ハ本丸ヲ南北ニ併列シテ設ケアルヲ二ノ丸ニノ丸、本丸ハ等シ

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4



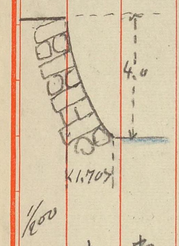
本丸西ヶ第三郭ノ塁壁ノ石垣ノ調査終ヒ、本丸ヶ丸
其断面左ノ如シ

三ノ丸ト相等ノ心ヲ以テスルヿト雖、外方周囲ノ部ハ三ノ丸ト相接シ此ノ南ヶ二ノ一部東西二郭ヲ設ケ
此等ノ外方ノ部ハ即チ城石垣ノ大部ヲ
"収容ス"

三、断面

場ハ幅三十米前後ニシテ此ノ石垣ノ高サハ水面上四米ヨリ河岸ノ石垣ヲ水面上四米ニシテ河水満潮ノ為メニ往往洗ハレ
"陸軍ノ要スルニ白砂ヲ"
但シ本丸ノ現状ノ断面ヲ知ル能ハサルヲ以テ
リ。十八ヘル

河岸ノ石垣ハ尚旧態ヲ維持シ其ノ本丸東方突角部ノ断面
左図ノ如シ。



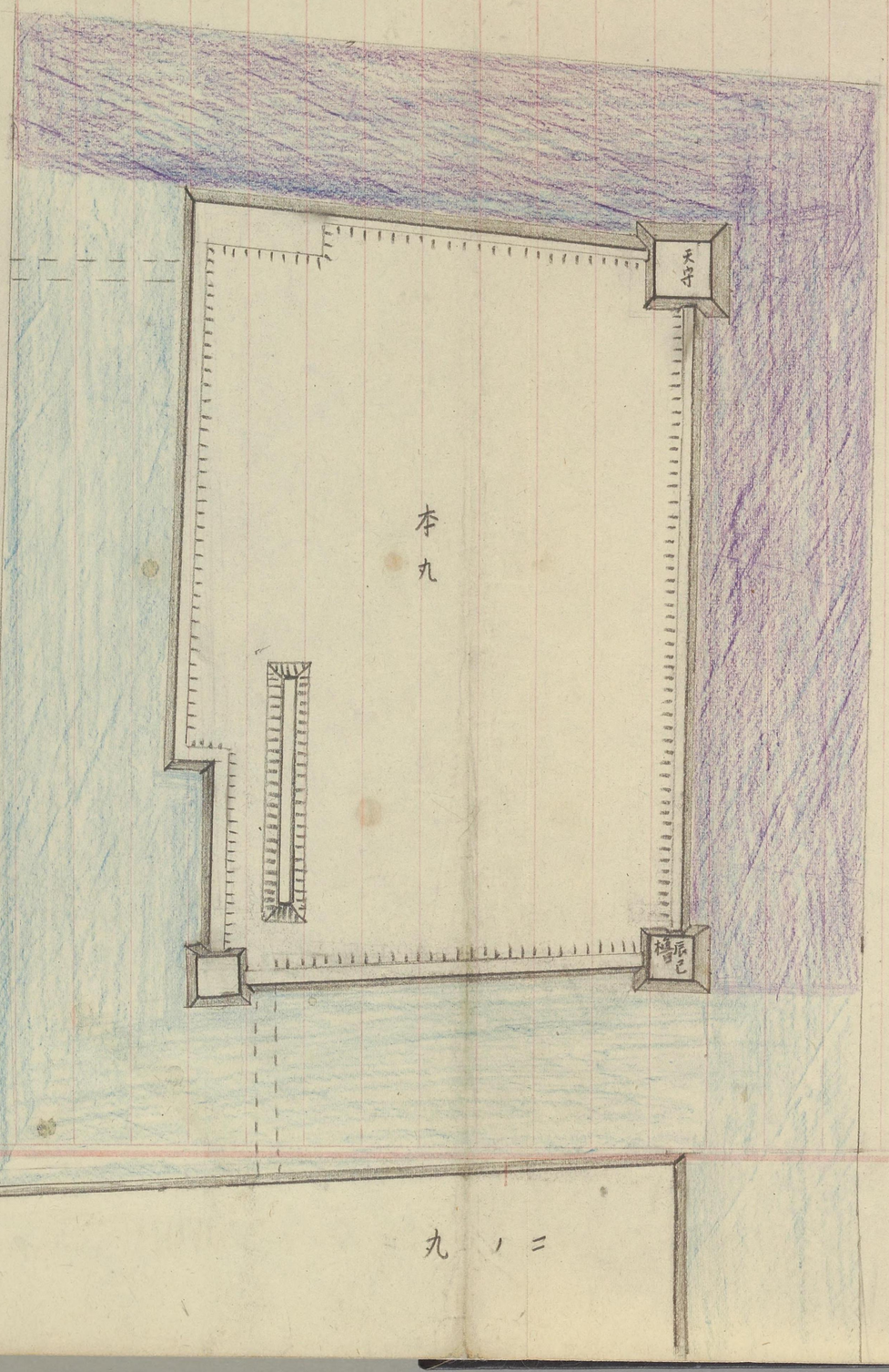
尚此ノ北方ノ部分ニハ此ノ上ニ高サ一米五ノ積
土ヲナセルアリ

国立国会図書館　[日本城郭史資料] 第21冊　本別20-4

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

桑名城本丸附近圖

三ノ丸



N

1/1000

紫色ハ旧下堤ヲ除地ニ手ヲ加ヘタル本図ハ現在残リ居ルモノヨリ当時ノ遺構ヲ想像シテ大体ノ形ヲ描キタルモノニシテ必ズシモ正確ニアラズ

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

久居城主変遷表

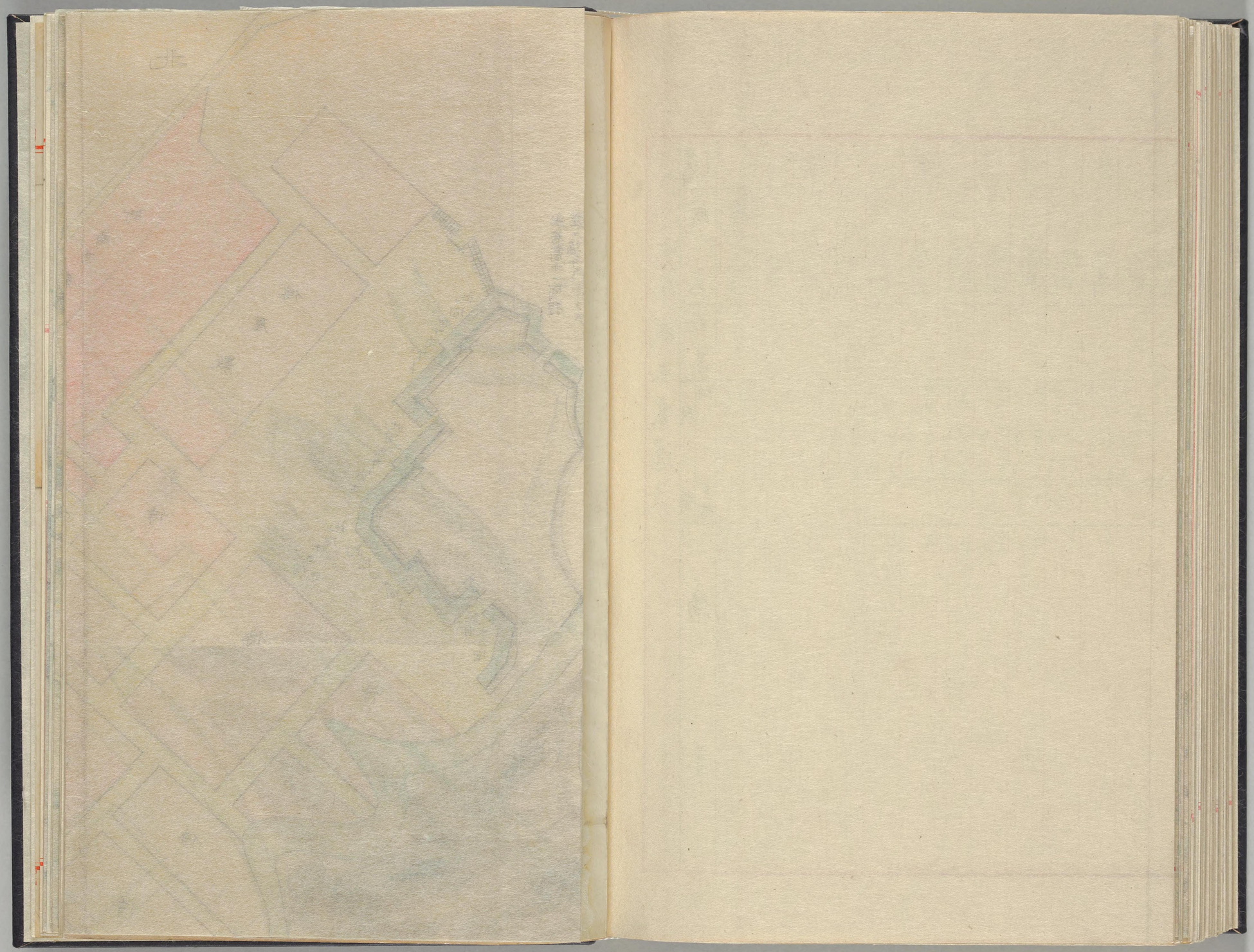
藩主	城主	石高	期間 年限	摘要
藤堂高通	藤堂高通	五〇、〇〇〇	寛文十年 元禄十年八月	津城主高久ノ弟高通、寛文九年九月、五万石ヲ分知サレ、久居ニ構ス
〃	高堅	五三、〇〇〇	今 正徳五年八月	高堅ノ代、高通ノ弟、分ト共ニ己ガ采地三千石ヲ併セ、五万三千石ヲ領ス
藤	高陳	〃	享保八年九月 今	高治ノ代、
〃	高治	〃	享保十三年之月 今	本氏高敦ガ嗣トナリテ、津城ヘ

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

久居城主変遷表

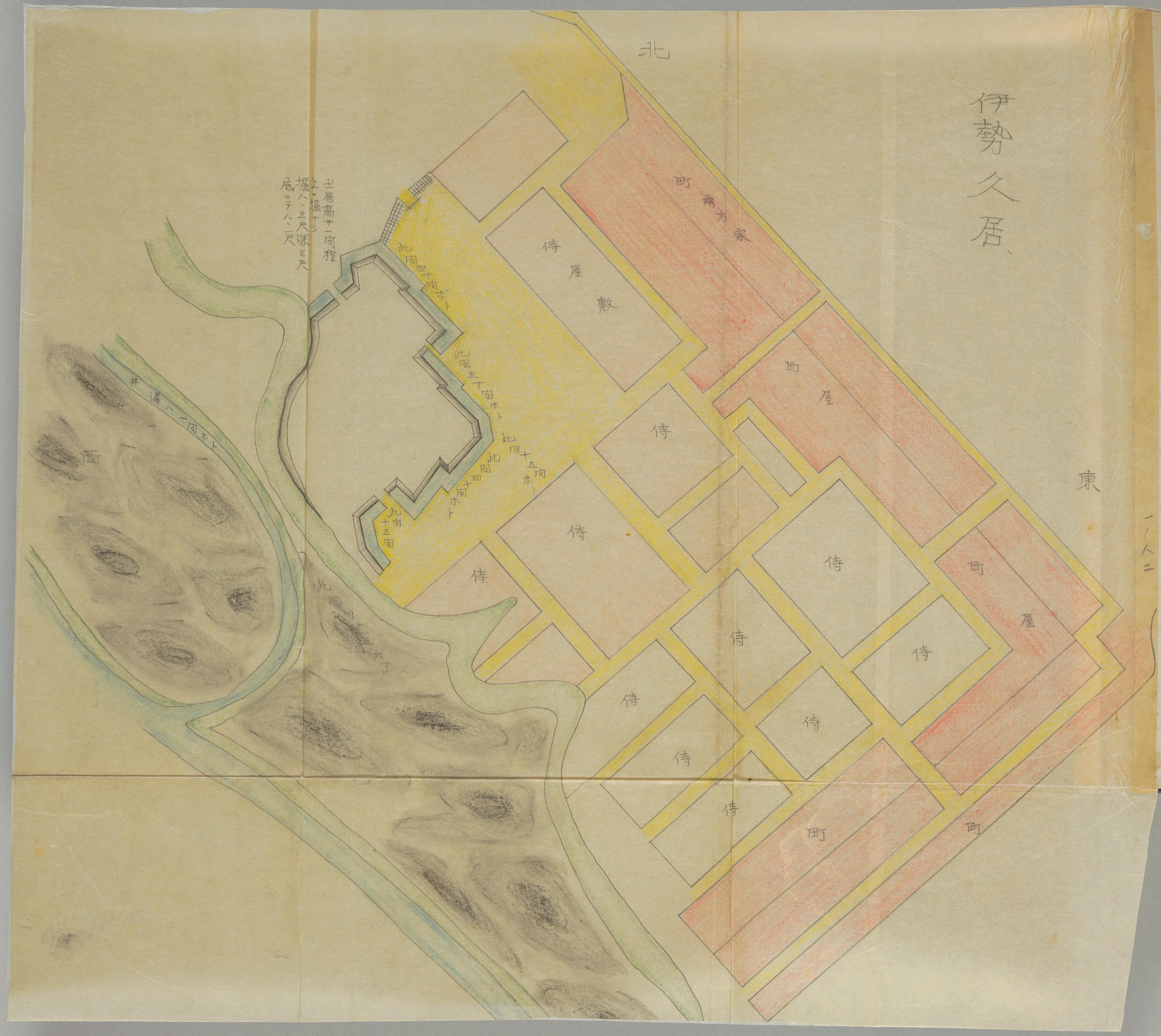
藩主	城主	石高	期間 自	期間 至	年限	摘要
藤堂高通	〃	五〇、〇〇〇	寛文十年			
〃	高堅	五三、〇〇〇	今 元禄十年八月			津城主高久ノ弟高通、寛文九年九月、五万石ヲ分知サレ、今十年城ヲ久居ニ構フ。
〃	〃	〃	今 正徳五年六月			高堅ノ卒ニ当リ、高通ノ弟、嗣ト為リ已ガ采地三千石ヲ併セ、五万三
藤	高陳	〃	今 享保八年九月			改化、
〃	高治	〃	今 享保十三年六月			本氏高敦ノ嗣ト為ル津城ヘ
〃	高豊	〃	今 享保廿年九月			高治ノ嗣ト為ル津城ヘ
堂	高雅	〃	今 寛暦十年九月			卒
〃	高敦	〃	今 明和七年閏六月			本氏高豊ノ嗣ト為ル津城ヘ
(	高栄	〃	今 安永四年十二月	二〇〇年		改化
久	高興	〃	今 安永六年三月			卒
居	高衡	〃	今 天明元年十月	(19代)		卒
居	高轟	〃	今 寛政二年九月			卒
(	高兌	〃	今			
氏	高聴	〃				
〃	高梹	〃				
〃	高遠	〃				
〃	高行	〃				
〃	高邦	〃				
〃	高義	〃				
〃	高寛	〃	明治二年六月			

国立国会図書館　[日本城郭史資料] 第21冊　本別20-4



国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

伊勢久居

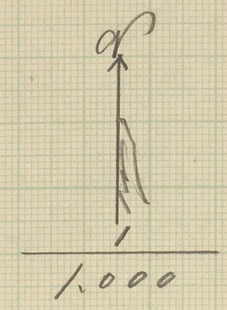


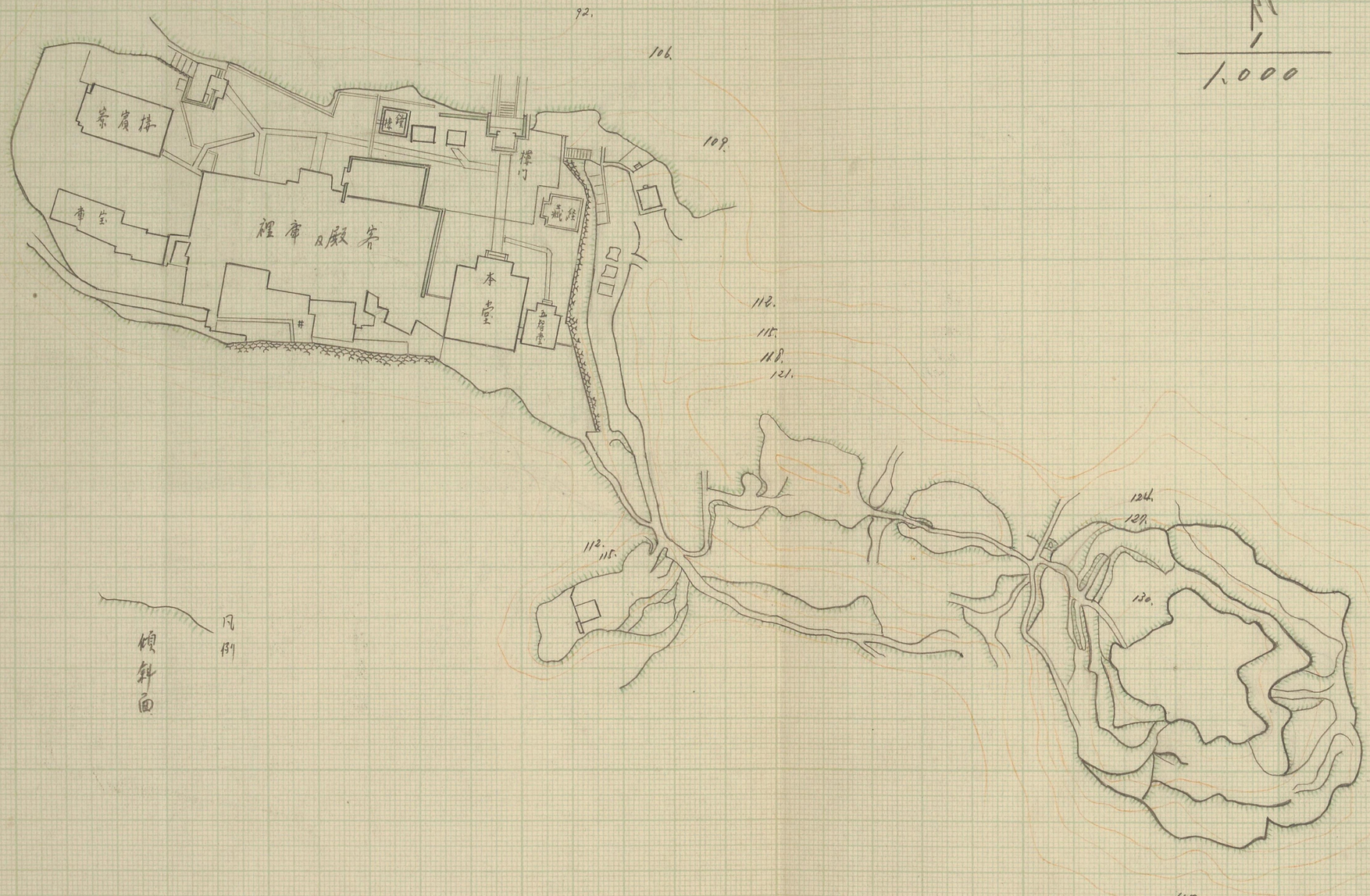
国立国会図書館　[日本城郭史資料] 第21冊　本別20-4

神山城

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

神山城





国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

長島城主変遷表

藩主	城主	石高	期間	与限	摘要
伊勢伊賀 伊藤重晴	?	?	文明? 或云弘治? 永禄?	?	文明年中(或弘治、又永禄)伊藤重晴此城ニ據リ押付、伊勢名勝志ニ云、永禄中、服部友定、砦ヲ修シテヲノレニ據ルノ説アリ(姓氏家系大辞典)
北畠氏	服部友定	?	?	?	
長島一揆	僧 證意	?	元亀 二年 天正 二年	?	五月、一向宗願正寺、僧證意此ニ據ルヨリ自ラ長島殿ト称ス 九月、信長之ヲ攻ム、又ノ一揆ノ場ヲ

陸軍

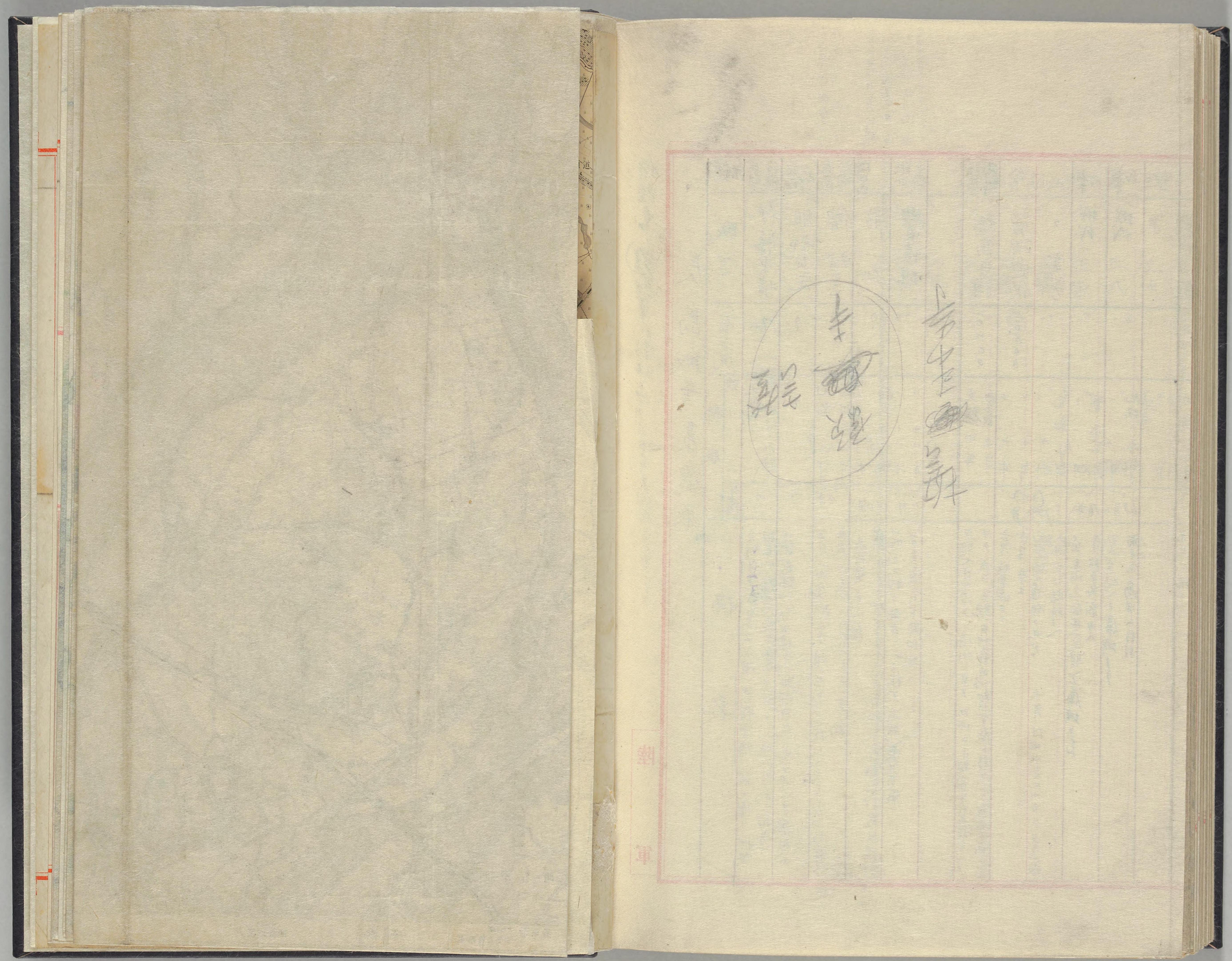
国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

長島城主変遷表

藩主	城主	石高	期間	年限	摘要
伊勢伊賀 伊藤氏	伊藤重晴	？	文明？或云、弘治？永禄？	？	文明年中（或弘治、又永禄）伊藤重晴、此城ニ據リ押付、殿名竹橋ノ三處ニ保塞ヲ築ク（姓氏家系大辭典）
北畠氏	服部友定	？	？	？	伊勢名勝志云、永禄中、服部友定、砦ヲ修シテ之ニ據ル
長島一揆	僧 證意	？	元亀 二年 天正 二年	4年	五月、一向宗願正寺ノ僧證意此ニ據ル、乃チ自ラ長島殿ト称ス
織田氏	滝川一益	？	〃 〃 十（五月？）年	10年	九月、信長ニ亡ボサル、之ヲ一益ニ賜フ
織田信雄	織田信雄	？	〃 十二年 十八年	7年	一益修築シテ大ニ秀吉ニ攻落サル、近江南郡ヘ（合戦之ヲ攻ム清水谷之ニ住ム）
			〃 〃		六月、秀吉ノ兵ヲ拒ガ、（小牧、長久手戦）一時之ニ移リ秀吉ニ逐ハレ、下野那須ヘ
福島正則	福島正頼	一〇、〇〇〇	文禄四年 慶長五年		正則、七月（会津ヨリ清州ニ来リ）此城ニ正頼（寛永諸家系図伝）ヲ置キ、兄定仍ガ遺領ヲ継ガ。
管氏	管沼定仍	二〇、〇〇〇	〃 六年 十年	4年	六月岐阜城ヨリ（百科大辞典）。和州宇陀ニ移リ、以テ兼知之所ト云フ。
〃	〃 定芳	〃	〃 十一年 元和六年	2代 6年	六年封地水災ニカカリ、五月京師ヘ
桜井氏	桜井城代	〃	〃 〃		翌年城主松平（定勝）ノ属城ト
〃	〃	〃	寛永十二年	16年	七月桜井氏松平（定綱）ノ属城ヨリ松山ヘ移封
〃	〃	〃	元禄十五年？	68年	桜井氏高田ヘ移封
増山氏	増山正弥	二三、〇〇〇	元禄十五年 寶永元年		九月下館ヨリ
〃	〃 正仕	〃	〃 寛保二年	5年	辞ス
〃	〃 正武	〃	〃 〃 四年	4年	致仕
〃	〃 正贇	〃	〃 安永五年	9代 168年	卒、倅ゲ
〃	〃 正賢	〃	〃		
〃	〃 正寧	〃	〃		
〃	〃 正修	〃	〃		
〃	〃 正同	〃	〃		
〃	〃 正治	〃	明治二年		

陸軍

国立国会図書館　[日本城郭史資料] 第21冊　本別20-4



国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

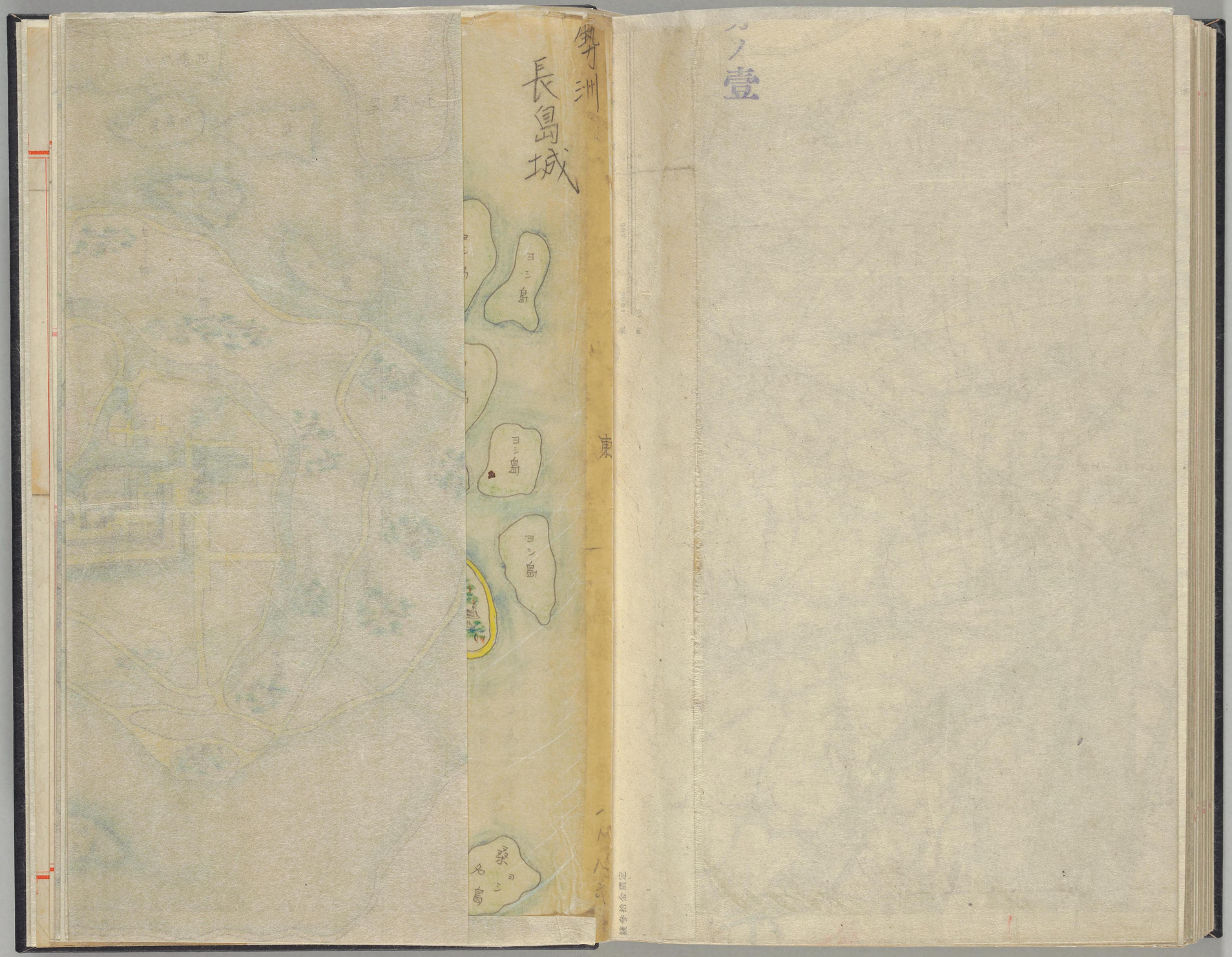
名桑
桑名
長島村
海部村
木曽岬村
木曽川
長良川
揖斐川
員弁川
村江市
富浦町
名桑西町
名桑町
村代野
村谷深
村良在
村生益
村部桑
島大
江中
所別西
天田
香取
中須
南之郷
上之郷
船頭平
門間平頭
新所
松之木
杉江
上坂手
下坂手
楠村
中川原
西川
小島
高座
問々
泥脇
千倉
方平
北島
中新
西外面
戸津
飯塚
浅道
出口
松島
駒江
地蔵
東殿名
加路白
木曽岬村
大新田
外平
芝井
鍋田村
田新
東対海地
西対海地
近江島
田代
赤地
雁地
白鷺
小泉和
中泉和
木曽岬村
豊崎
福豊崎
永松
川先
源緑
横満蔵
伊曽島村
福吉
羅都
東野
江場
地蔵
小貝須
清須貝
赤須賀
桑名
天田
所別西
寺別本
田新塚嫡
上沃西
井金西
井金東
原篠
田稗
田培
田新與
連花寺
野上
下野代
小山
江拡
深谷部
砂三
柚井
戸津

ノ壹

名

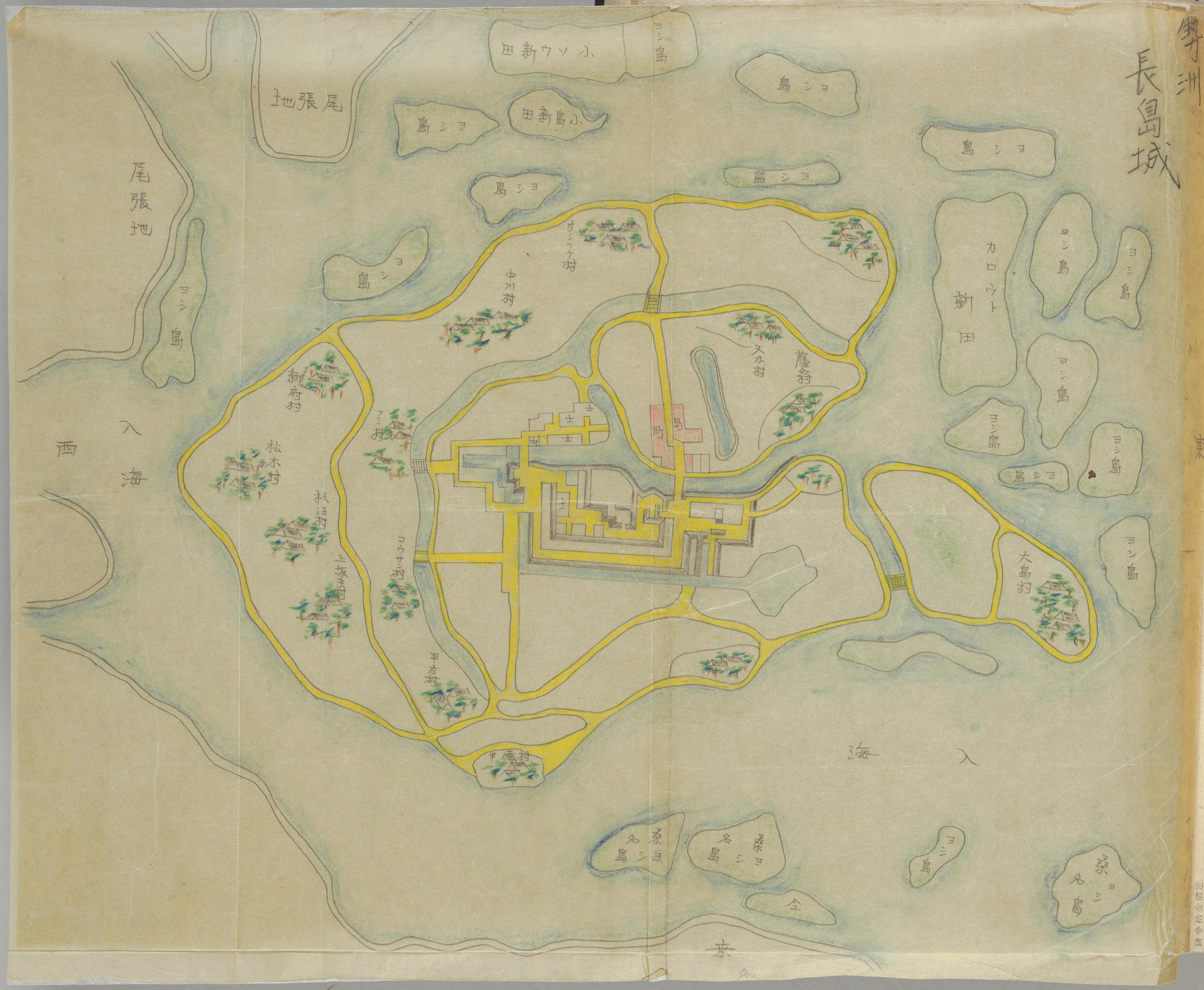
貳萬五千分ノ壹

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

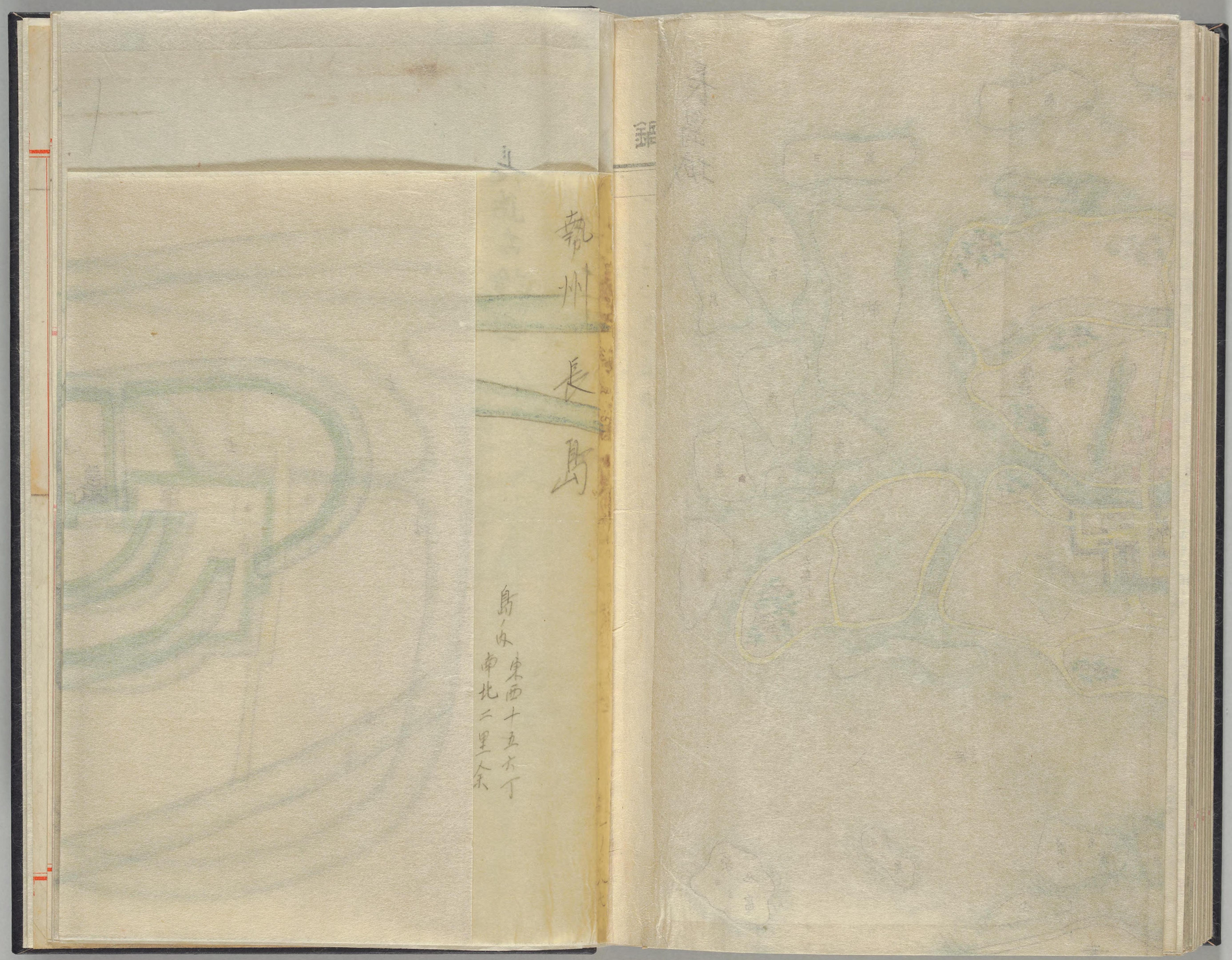


国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

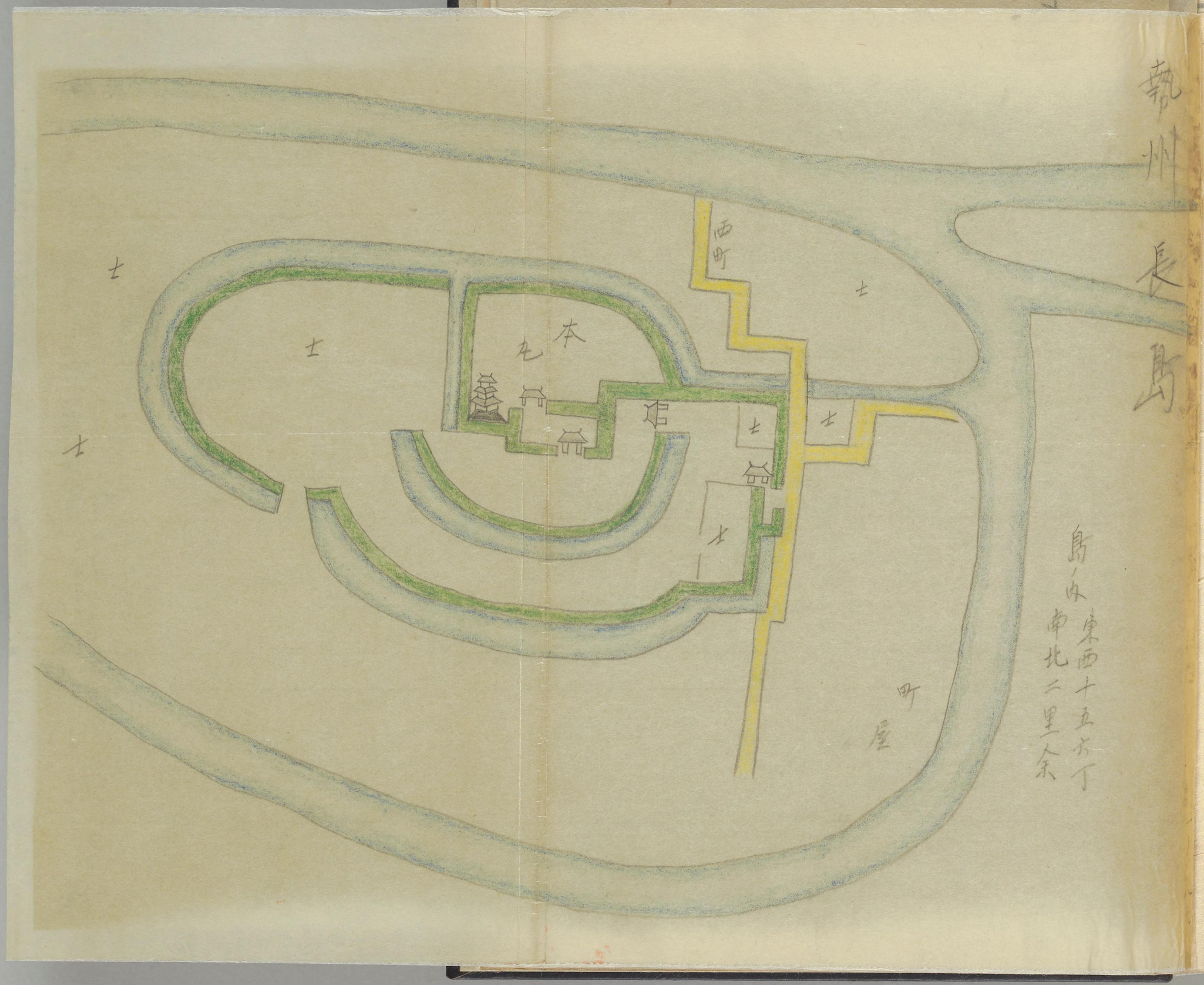
勢洲長島城



国立国会図書館　[日本城郭史資料] 第21冊　本別20-4



国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

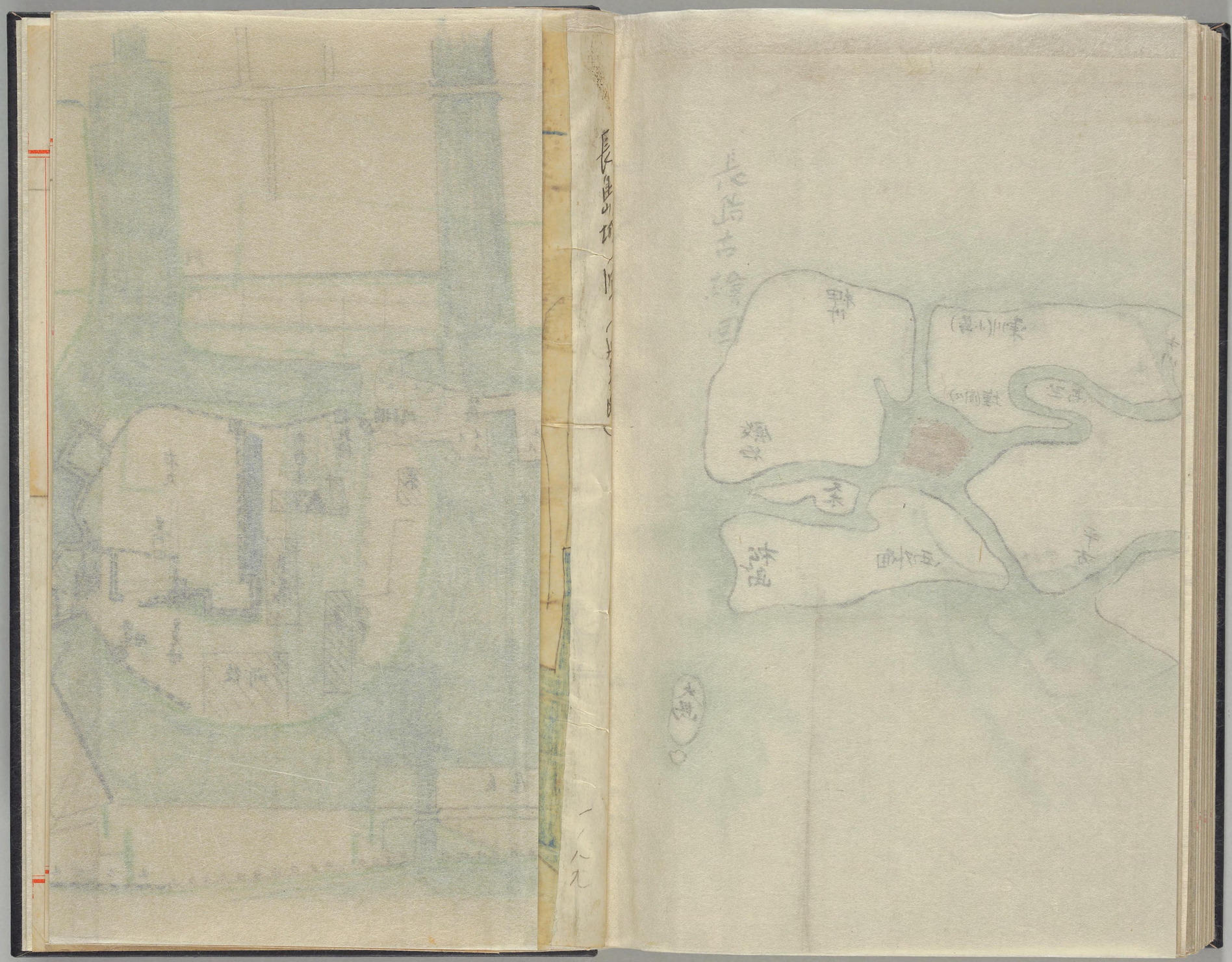


国立国会図書館　[日本城郭史資料] 第21冊　本別20-4

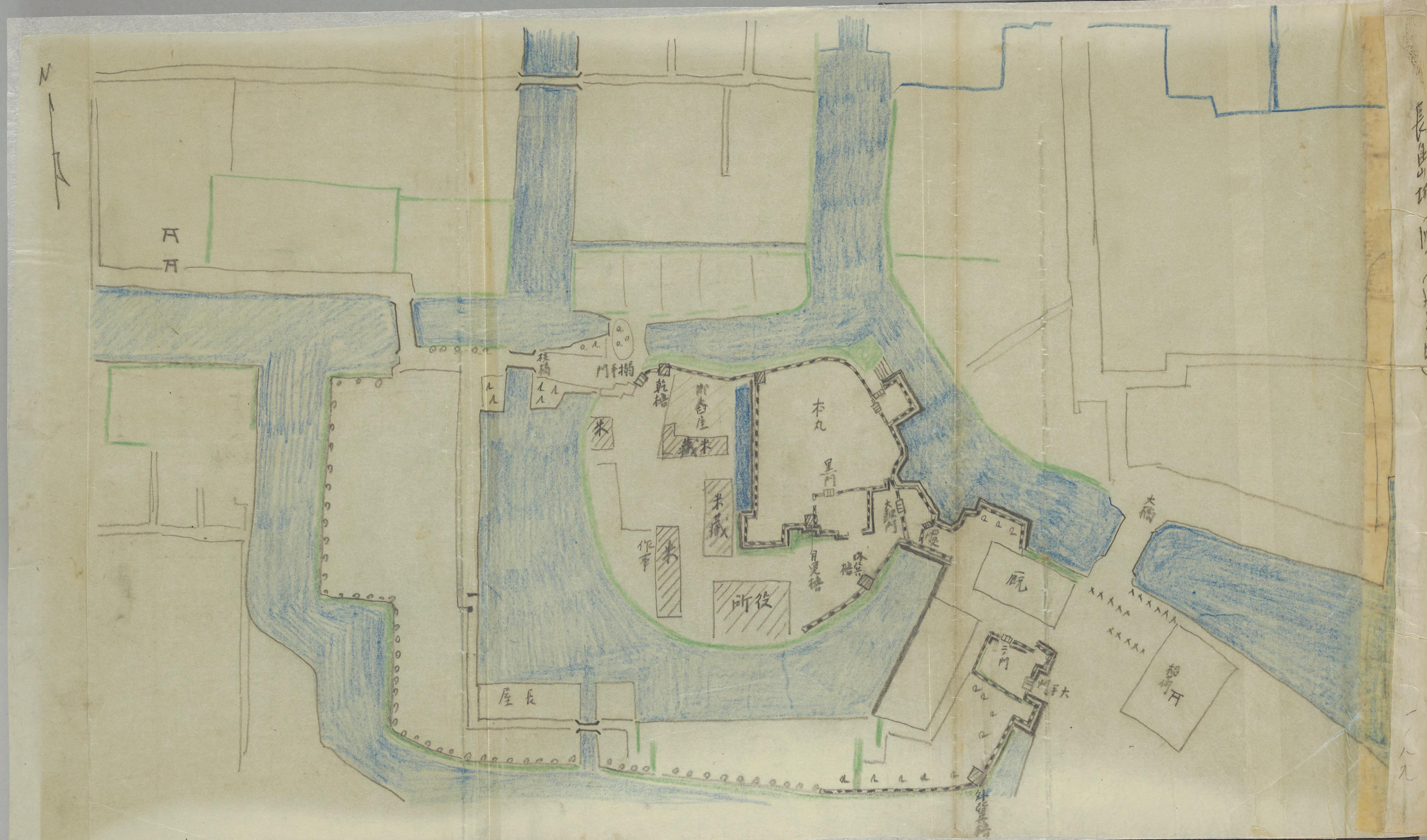
国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

長篠古城図

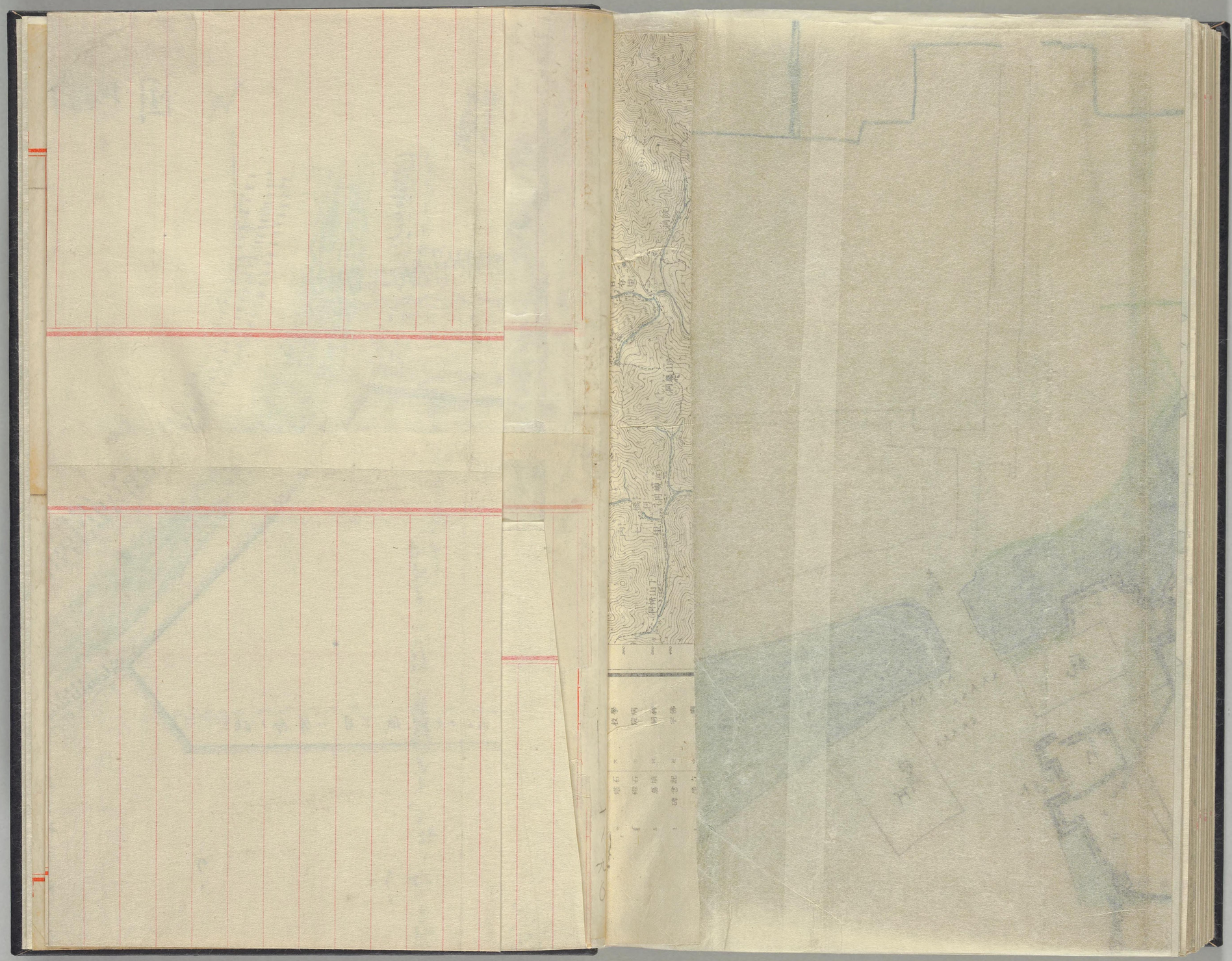
国立国会図書館　[日本城郭史資料] 第21冊　本別20-4



国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

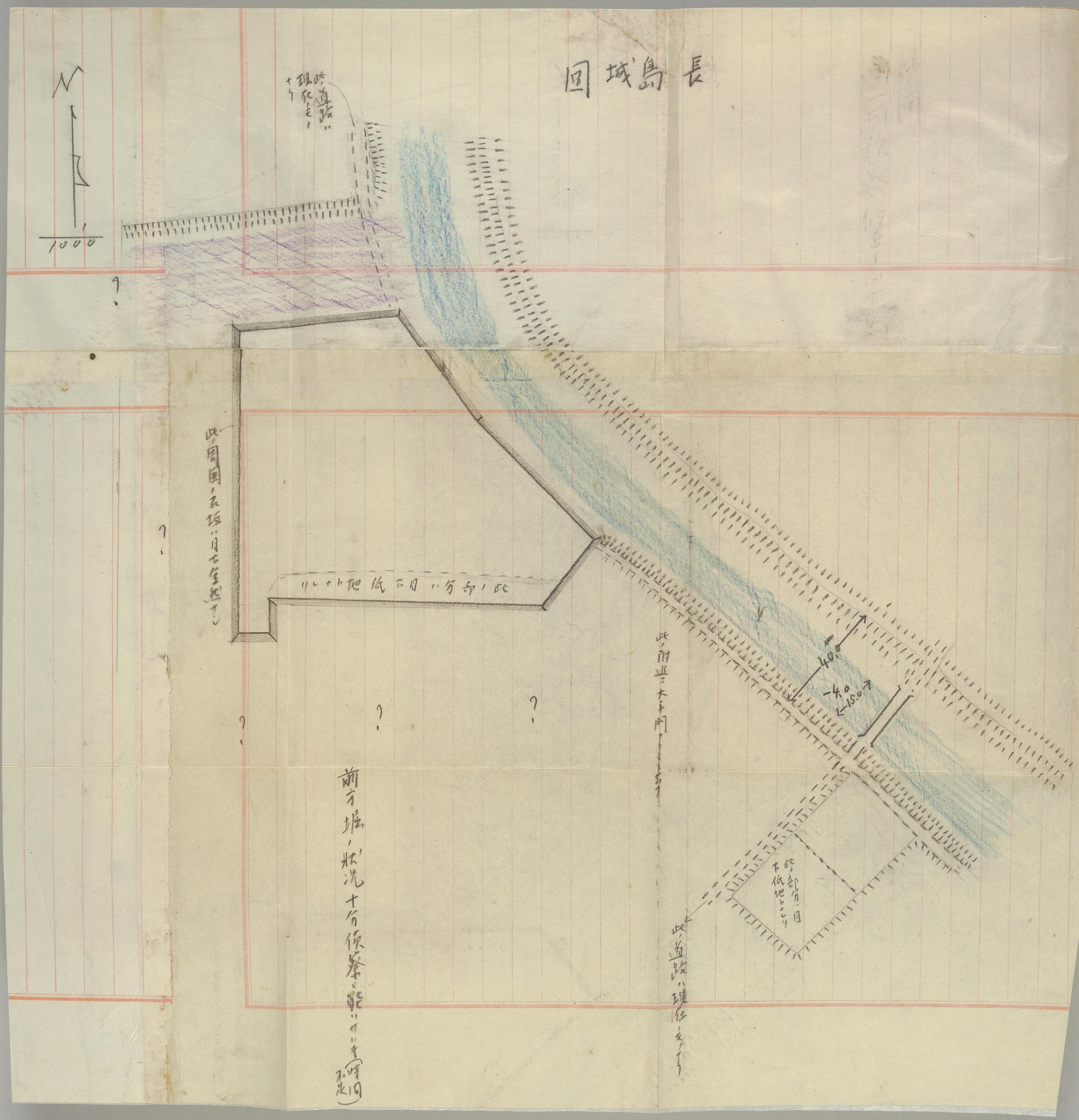


国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4



国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

長島城回



国立国会図書館　[日本城郭史資料] 第21冊　本別20-4

長岡城攻防経過表

年	元治元年	元治二年	元治三年
陸軍	七月諸州門跡脱走ノ織田久之丞ヲ長岡藩ニ於テ斬殺ス 長岡藩ハ河井継之助ノ外交ニ依リ桑名藩ノ仲裁ニ因リ恭順ノ意ヲ表シ軍資金ヲ献納ス	五月十日総督ヨリ会津ヲ討ツ可シトノ命ヲ受ケ長岡ヲ経テ進撃ス 五月十九日長岡藩ニ対シ会津ト提携シ官軍ニ抵抗スルヤ否ヤヲ質ス 長岡藩ハ之ヲ拒絶シ官軍ニ抵抗ス 五月廿日官軍長岡ヲ攻撃ス 長岡藩ハ小千谷ニ兵ヲ出シ官軍ヲ一撃シ大河ノ線ヲ守ル 五月廿四日官軍ハ小千谷ヲ占領シ長岡ヲ攻撃ス 長岡藩ハ河井継之助ノ指揮ノ下ニ激戦ス 五月廿七日官軍ハ長岡城ヲ陥レ市街ヲ焼ク 長岡藩ハ会津ニ走リ更ニ米沢ニ走ル 閏四月廿一日官軍ハ榎峠ヲ越エ会津ニ入ル 閏四月廿二日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 閏四月廿三日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 閏四月廿四日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 閏四月廿五日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 閏四月廿六日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 閏四月廿七日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 閏四月廿八日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 閏四月廿九日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 閏四月晦日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 五月一日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 五月二日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 五月三日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 五月四日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 五月五日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 五月六日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 五月七日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 五月八日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 五月九日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 五月十日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 五月十一日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 五月十二日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 五月十三日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 五月十四日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 五月十五日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 五月十六日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 五月十七日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 五月十八日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 五月十九日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 五月二十日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 五月廿一日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 五月廿二日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 五月廿三日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 五月廿四日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 五月廿五日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 五月廿六日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 五月廿七日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 五月廿八日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 五月廿九日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 五月晦日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 六月一日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 六月二日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 六月三日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 六月四日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 六月五日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 六月六日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 六月七日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 六月八日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 六月九日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 六月十日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 六月十一日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 六月十二日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 六月十三日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 六月十四日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 六月十五日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 六月十六日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 六月十七日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 六月十八日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 六月十九日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 六月二十日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 六月廿一日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 六月廿二日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 六月廿三日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 六月廿四日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 六月廿五日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 六月廿六日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 六月廿七日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 六月廿八日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 六月廿九日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 六月晦日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 七月一日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 七月二日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 七月三日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 七月四日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 七月五日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 七月六日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 七月七日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 七月八日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 七月九日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 七月十日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 七月十一日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 七月十二日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 七月十三日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 七月十四日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 七月十五日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 七月十六日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 七月十七日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 七月十八日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 七月十九日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 七月二十日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 七月廿一日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 七月廿二日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 七月廿三日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 七月廿四日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 七月廿五日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 七月廿六日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 七月廿七日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 七月廿八日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 七月廿九日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 七月晦日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 八月一日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 八月二日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 八月三日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 八月四日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 八月五日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 八月六日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 八月七日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 八月八日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 八月九日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 八月十日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 八月十一日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 八月十二日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 八月十三日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 八月十四日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 八月十五日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 八月十六日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 八月十七日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 八月十八日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 八月十九日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 八月二十日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 八月廿一日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 八月廿二日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 八月廿三日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 八月廿四日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 八月廿五日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 八月廿六日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 八月廿七日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 八月廿八日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 八月廿九日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 八月晦日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 九月一日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 九月二日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 九月三日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 九月四日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 九月五日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 九月六日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 九月七日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 九月八日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 九月九日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 九月十日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 九月十一日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 九月十二日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 九月十三日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 九月十四日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 九月十五日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 九月十六日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 九月十七日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 九月十八日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 九月十九日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 九月二十日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 九月廿一日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 九月廿二日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 九月廿三日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 九月廿四日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 九月廿五日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 九月廿六日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 九月廿七日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 九月廿八日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 九月廿九日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 九月晦日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十月一日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十月二日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十月三日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十月四日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十月五日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十月六日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十月七日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十月八日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十月九日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十月十日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十月十一日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十月十二日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十月十三日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十月十四日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十月十五日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十月十六日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十月十七日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十月十八日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十月十九日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十月二十日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十月廿一日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十月廿二日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十月廿三日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十月廿四日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十月廿五日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十月廿六日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十月廿七日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十月廿八日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十月廿九日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十月晦日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十一月一日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十一月二日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十一月三日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十一月四日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十一月五日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十一月六日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十一月七日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十一月八日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十一月九日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十一月十日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十一月十一日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十一月十二日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十一月十三日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十一月十四日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十一月十五日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十一月十六日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十一月十七日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十一月十八日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十一月十九日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十一月二十日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十一月廿一日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十一月廿二日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十一月廿三日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十一月廿四日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十一月廿五日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十一月廿六日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十一月廿七日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十一月廿八日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十一月廿九日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十一月晦日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十二月一日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十二月二日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十二月三日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十二月四日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十二月五日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十二月六日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十二月七日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十二月八日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十二月九日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十二月十日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十二月十一日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十二月十二日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十二月十三日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十二月十四日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十二月十五日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十二月十六日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十二月十七日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十二月十八日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十二月十九日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十二月二十日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十二月廿一日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十二月廿二日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十二月廿三日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十二月廿四日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十二月廿五日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十二月廿六日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十二月廿七日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十二月廿八日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十二月廿九日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス 十二月晦日官軍ハ若松城ヲ攻撃ス	

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

關ヶ原役ニ於ケル長島城防禦經過表

東軍

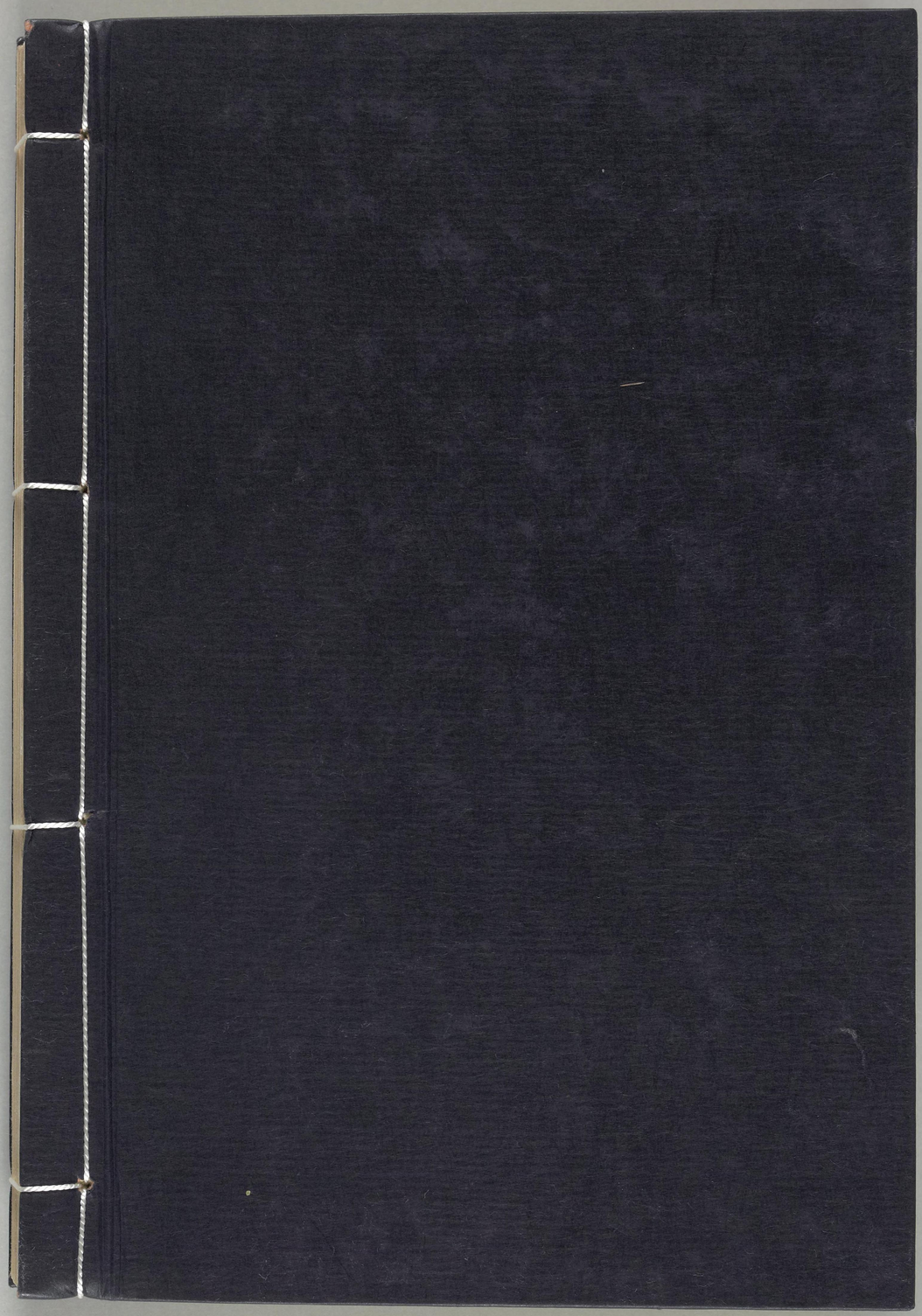
西軍

九月	九	福島正則小山ヨリ軍ヲ反シ清洲ニ入ル之ヲ知リ直ニ兵ヲ率ヒ岐阜ニ向フ
		岐阜城主織田秀信亦東軍ニ応ジ兵ヲ率ヒ木曾川ヲ渡リ犬山ニ入ル
		秀信ハ犬山ニ在リテ兵ヲ募リ且ツ諸将ノ来援ヲ待チ以テ岐阜ヲ守ラントス
		岐阜城ハ金華山ノ絶頂ニ在リ三面断崖ニシテ僅ニ一路ノミ山麓ニ通ス
		城ハ本丸二ノ丸三ノ丸ヨリ成リ本丸ハ最モ高ク二ノ丸三ノ丸ハ漸ク低シ
		本丸ニハ秀信ノ居館アリ二ノ丸ニハ秀信ノ妻子ノ居館アリ
		三ノ丸ニハ秀信ノ家臣ノ居館アリ
		城ノ東南ハ金華山ノ連峰ニ接シ西北ハ長良川ニ臨ム
		城ノ東南ニ当リ一條ノ街道アリ
		此ノ街道ハ岐阜ヨリ犬山ニ通ズル要路ニシテ
		秀信ハ此ノ街道ヲ扼シ以テ東軍ノ来攻ヲ防ガントス
		秀信ハ兵ヲ率ヒ此ノ街道ニ出デ
		木曾川ヲ渡リ来ル東軍ヲ迎撃セントス
		秀信ハ兵ヲ率ヒ木曾川ヲ渡リ犬山ニ入ル
		秀信ハ犬山ニ在リテ兵ヲ募リ且ツ諸将ノ来援ヲ待チ以テ岐阜ヲ守ラ

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4

別20
4
21

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4



国立国会図書館　［日本城郭史資料］第21冊　本別20-4